一府税制長所通第一日は林州が局

午後四時まで本所第・館職指に開

けふから本府に開かる

館品

水に午前の日在を終り休却直もに

大小さ情勢を馴致して居ること くべき情勢を馴致して居ること くべき情勢を馴致して居ること

の機密を得ましたことは子の放りまして、所復の一端を限ぶる数に殺闘長會議を開催するに當

的改革を加ふべき踏あらば右に現行側程側度及基脳機構に根本

出入貿易額は質に十二億一千萬昭和十年中に於ける朝鮮の職務

国を突破し来 合有の翻 進を告げまして之を三年間の昭和七年中の質額 と比較し前 倍加するに至つたのでありますが、違は許凡工業の労働と山曲打の選手の衛工業の労働とは自由に、又次群高間の環境交通が緊急の度を加って記さる。

課長等を派遣

歐洲南要部進出の緒口となる(最はより)

既の態であるがイタリー

次第金歐洲を離保せしめるに足る重大登明を設すると降へられる、獨地新協定を物費とするイタリー

駆死工作に報用す決診と解される。 4 フソリーニ前担は目下鑑問中の探診原行よりローマに弱湿大國に呼びかけると間時にドチウ螺定陽小螺囲揺園を打つて一丸とするヨーロッパ平和腔構の登

|旅立に職して二日ヒツトラー總統||がムツソリーニ世首相の居中調及||鍛を総約||であるがフランス政府||ベルリン十二日同盟||獨魏線定|| (ペリ十三日回盟||獨忠附置政府|| のでフランス政府首隊部は熊重豊|

**豊が行けれた、シニシュニタク首)の震運館に選尿を加へるに至った「銀碗することを酸まで主歌すると)埋土との間に窓方に晃徹仏の交」し中南ヨーロッパを貰く含痰活眠」に続らず七月下ルロカルノ館跡をとれてストリア首相シェシュニッ」により「國交上常仏の協定を締結」としては世獨國國際の主説如何とれてストリア首相シェシュニッ** 

**ると耐時にドナウ棚定員小湖西諸国を打つて一丸とするヨーロッパ平和影構の金り一蹴府はこれを承一步として、海、墺、伊三國の謝鮮を忠確に英、郷、谀、蘇「イタリー或府は新たに成立した海墺閣定をはてイタリー外交の勝利として太긂(イタリー歌府は新たに成立した海墺閣定をはてイタリー外交の勝利として太긂()** 

祝電を交換獨墺兩巨頭

線復行を目的どするロカルノ條約國會議にイタリー政府は参加を的をの無意の存在となった、從つてドイツの参加なく且つストレーザ戰、獨軍関定によりてオーストリアの軍工保全はドイラ政府より保障されストレーザ眼前はその日終の新劇向は左の方批に著くと解される

相当りヒットラー総統宛 相談経すら二つの『ゲルマン民 相談経すら二つの『ゲルマン民 はの成立を見たる検査を利用し しかる目的をもつて今回ドイッ されストリア 福賀政府間に新協 定の成立を見たる検査を利用し して子はドイッ國總統並に総理 たる閉下に敬意を表し同時に新協 だ。成立を見たる検査を利用し

歐洲の政局

「リマナ二日同盟」、ルー政府は 「月廿六日大統領令を公布し在留」

更に歸化禁止令公布 移民制

分之

佛國、抗議に出てん

現在ベルー 在留の 日本人は一萬

了原案通り承認を見る模様である。
響答を重ねた、十三日中に審職祭

小脳高層の参加なき殴り右腕際

河和田の平次(七)

吉川英

作

(18)

村耕

花

将国田路 吉に計して東行う・・・コンでは、「あか、お」をかしい方へ家を題の相、次田法制局長官その他闘(古ない平次郎の事だし、何か、お」をかしい方へ家を題 吉に断して嫉妬らしいものを含ん は背しにすぎまいと人々は思ってしたが、戦闘しにすぎまいと人々は思って あたが、慰婆になると手のつけら 既と思つて、心能の部合をつけて だ。そんな事から、何かとおれの 切れぬ苦労をしてるるな苦さん に、それを、 世で ともあら して、おれと こ、おれも不

新發

賣

急性・慢性・増入用

普及藥

一門九〇

麻えちゃねえか、手を聞しゃが おれる、男

めですから未覧観者は印製師使用下さい。

金品器質の目的は低來より一層服易低級に本際器件

「わ、わかつたよ」 「わかつたかい、今の話は」 「おやあ、お吉さん してくれるだ の今日の事も

用量

誇るべき治療の特長

飛んで來た仲間の大工の一人だつ

た。うしるから平次郎に組みつい

人のさしづはいらざる他話おやね 「女房の事あ、発主の一弦だ。他

> 用法 時間

安全館易

でよる 一回 二分間 ---- (小相頭大の意)でよし

おあげたo

と、緊を持つてゐる利き腕をね

配しれる

### るは勿論一路減退の途を辿っもの 配化歴止令の結果在留那人のベル 命滋道局無防壓動務 音永 武場 本府部令(十一日前) 脚零車 大和田福盛 事 內聯 反治

命城津殿道事務所長 高城道県初として入献、引つと 高城道県初として入献、引つと 高城道県初として入献、引つと 古る京城郡長の徳仕をめぐり する京城郡長の海に重ねと

**愛國運動の形式で民衆獲得** 

金山縣長 金山縣長 金山縣長 金山縣長 金山縣長 金山縣長

否心研究の関係が説で連続した起館法にして始めて 統消炎館補收飲力と問記圖力な深行性機能力とを、 市液の根本たる病院を破壊し歴史を取くがが聞る団

さを脆明するもので、その上粧眠時で消るのは、乾

本剤の主力薬プラオン眼は、これを慢性症に使用す

石配の如く使れた管長にて湘海を短田時に治療する

れば一時的に急性に戻し治療を容易にする程反應力

いく、され全層界の求めて止まれ深行性難識力能も

けの従来の治験とは野

見る効果で、殺菌力だ

鮮電紀入り一局を確膝電印氏は一京場が

> 附官共三郎氏(同事務官)同上

「膽でもわえ、和介だよ」 「誰だつ、那様するな」

天地支黃

「なに、和介だと」

雅地してゐるつてえ事だが、それ 習さんと、酸な事でもあるやらに 発してもらひてえ場にやつた事。

お書さんとおめえと、伸よく

気な説似をし の兄弟子、そ ふとほりだっ

> # ン オ ラ ブ

> > 朝に監監院殿殿歴史に へ、聴跳動作用なく明 **炎等の危険を安全に動**

関節の病害なき迄に根

に明明ではあり得ない、配ろ数しんな気はがあつたって、真女のお れいふのは押も野袋かも知れる女――何でおれがそんな遊遊な まねするものか。よし父、おれにそ おめえといふ歴子とした夢主のあるがな血でもながすやらな事があ い。……それに、こゝはたよのご 駆を立てないで着しておくんなさ に依る次単な御造器の場所!

な起所へ、萬一

後兄妹同士の結婚がで、かれ

北本年度から限第三十八萬田で全は本年度から限第三十八萬田で全

に要確認語を増設することになり

れが側隔をするめてるたがいよ 合質豪部に外事係を新設。さら

一月末日から置施、各追に新

ら適性滑を厳選して扱難性能するこれ等の人々は二萬難然官の中か

一所の外耶美宗擴王策によって雲派官の大異動を行ふとになつた官が配置されるとに決定した | ことになったので近くこれに伴ふ

緊急刺令案審議

本。子の和飛は網だてのやさしい男だって、脚々と乱なった。続きへ浮かめて、一般なと乱なって、おすが影響など、「平次ゆも、やえ高者いて、 同じ大工仲間ではあつたが第第

な事はしわえから難せつていふの くれるか] もう手能

の早く家へ碌つが、今日のとこ しゃがれ!

かと、平次郎 八〇萬人(約25日登)十一円五〇瓦人(約25日登)七一円五〇瓦人(約25日登)七円代 文献進呈

**民生の聲びなく熨芯な** 長らく使用して全治の

焼卵に効果的中する治 本則の如き最少期間で 形挿入座栗や注入栗を 関が背無の内服薬や固

務薬を使用せれば一生

世界的に實験された我

単に迷ふ能感染患者は見込みがたり慢性患者

本から治療が出來ます 最少の類倒で最大効果

代用薬ナシ 日東製造合名台社製品プラネンギン ケンゴールと特に荷担菜子はい 金銭の抵失は開かです

人用)あり、御註文の際は御期記を乞ふ。往窓―寳號(急性用)、弧號(慢性用)、霧號(紀

東京市芝區通新町十三番地

数代理度 企名河原商店

口東部繁命如衛草副品 電話三田 (一大八六番

全翻楽店にて販賣す品切め前は直接網代理店へ

ってしまった。

|意向を有し、歐洲平和はそれのみをもつて維持し得るどの確信を、西歐區間の平和保險層で成立の場合は7メリー政府は獨伊提携を一層現化する

オーストリア間でも7月~こ。 1975年) - 「無社等の学術とは必要保件たるを認め美術波底道機能も大河の傷定成立に一郷社等の学の部が制度が散洲の再動には必要保件たるを認め美術波底道機能してがらイタッー政府は必要値の財政制度が散洲の再動には必要保件たるを認め、

殿不快爆雑な局所築 置される極少量の使用 で充分効果あるは、一 (推入、麻郷) と至く相

題して、路腰線側睾丸

+

然であります。然も総 既比較になられのは皆

一 努めて抗日牧方、中國共産

即っそのス

から脱却して最近におい即時樹立』の如き 公式論『中國ソヴェート 政府の『中國ソヴェート 政府の つゝ廣汎なる人民層へ愛國運動の かたちをと の樹立」を全 面に押出しては『抗日愛 國國防政府から脱却して最 近におい 國革命聯合軍の中 にカム軍の如きも 努めて抗日牧つ」ある一方、中國共 産 大衆獲得のために 運動 フラージする 戦術の下に

産業を主能勢力とする人民職総連動はであると限べられる。しかして中國共

於ける人民戦級の組織順立に大道の題 前の如きも根本能に變更し以て支那に

その具體的目標を依然抗目に置き、一

當の効果を取めつゝあることは、時局

供せらるよやう御留意を願ひたは細大となく常島風殺の器考に共の調査し得たる資料値に意見

運動の飛躍的成功に盛みその職略、

策にも歴大なる影響を及ぼすものとしつ。メあることは今後のおが超支跳 て、その成行は關係方面から關心を持

宇垣總督及び田中局長の趣言方 京域級、平北道の曾謹に出席、先づ伊藤本府藝務課長は十二日

各方面から非常に期待されてゐる 一躍に出席することは初めて試みて 各談長、事務国が夫々各道型長館

るためだとあつて、 獨災新聞を 欧洲の雰囲気を明明ならしむ

う配せッ、<br />
設生ッ、<br />
設生。<br />
などっ、<br />
設生。

は、態なれた。なる程、おれはお ていや、そいつがわからねえうち

が原現した、軽視したからと | 主に盛しないの行ひは、この所が原現した、軽視したからと | 古書さんの戯遊たとしい事や、何はともあれ、大脈前の解釈 | お書さんの戯遊たとしい事や、

樞府第一回委員會

線警官を激勵

動係では十二月午後南大門市場で一世分式を終った

暴行加へて

人團體は販

のチンピラ部語前「点域本町場外」既能設施戦技術政制式に入り、時(は十二日夜宮城孝徳町1111三延晋十五畝の少年を頭目にした廿二名)の副師あつて協師終つて紹平小政(御席)、京城水標町八十隊浜坂/三

14-11日夜京城孝俐町二二三延音

十二名の一味發覺

既晋中の室にはすった揚句銀行し町二時半年下往十里町都恵子方で

**羽鮮軍参謀長を市計委員に囑託** 

を健

各防空演習の結果を基礎

この名でなつかしまれて来た、盛眠を要するも 照領に因んで動痕道観と名付けてからずつと の景勝の地を昨算第一回の時その間上である

成興會員 七圓九十六錢元山韓鎮 八圓三十六錢元山韓鎮 八圓三十六錢

[東京電話] 歌舞伎界の長老市月

軟式都市對抗

聞くことになった、蓋

Nat. 新華和方の食品は京城までの汽車長を目京城の会員一四個五〇銭(但し宿町)

3.々たる店舗を備へ裏面では北鮮

れな草』主題歌

本 券 番付此段謹告仕候也 京城料理屋組合付此段謹告仕候也

夏

の

公休

上流でが然中部死した、前回日本

一致しますが貿易からは一部を質 道局。新

三二外支加入内域三名を観聴収割

學務

京城德力

お花城と湖水をめぐる景勝、珍しい植物と

**団を投じて後別グライダー一機の十三日朝突然、阿供衆部に干五百** 

の船場を見て京城丁子居民民居は

北たなほこの諸文を早進任城織割部では終んで受罪することに決定

お、この頭師グライダー匹票部一行飛行等も可能となる説で、映象

今日内地で盛んに行はれてゐる鬼

跳させた、現在使用してゐるグラ

イダーはほんとうの練習用であつ

行機によるグライダー曳行飛行で

張昭を申込んで供謝的の人々を歌 した。:

思ひ出も新に

4格的グライダーを倶樂部へ 丁子屋から寄附

選題の悲悼として重點がされて来 | 百條國、豫為經濟經歷與を入れて五た関防國策上にも大切な原開數を | 用であり、その選作費も僅かに三 せ略くの人々に深い蹠霧を興へ至「ダーで、これによつてほじめて、目から半島に初めて線恢な要を見」子磨が浴附の機能は本格的グライ 一直囲で膨入したものであるが、丁

の成績 明水湖釣會

第二回明水川野町原及は十二日午 **削穴時より開催、参加各代及選手** 

へ総熱性に脱強した | 「のる京城西大門靴では部送主任の | を参加者 告田、養飯、伊藤、徳 | 西部によって陣谷の版本師正て直 | 谷田、藤井、井上(正)横山、田 | り十三日は羽から駅全方を辿っまて | 明・藤井、井上(正)横山、田 | り十三日は羽から駅全方を辿っまて | 1 り十三日は羽から駅全方を辿っまて | 1 り十三日は羽から駅を行き端本着 | 1 り十三日は羽から駅全方戦の立て | 1 り十三日は羽から駅全方戦の立て | 1 り十三日は羽から駅全方戦の立て | 1 り十三日は羽から下が、 | 1 り十三日は羽から駅を指する場合。

医西印度料理う技表 直ちに協議指置委員長よりそ

◆入資者左の通▲大物質一等信間「器にすべての希望をつないでゐた

日収から留置してゐる大興町居住 容疑者の取調べに重點を置き十二 (人) 人方者へ質品の摂取式を終

を激烈されるのでこれを打切り、「院鍋の範囲を導大して陣景の竜いが、時日の部場するに従つて雨飯」の二人を厳重は支するとともに

悉壯な決心で協力程監捜査

新譜表

I

**e** 🕁

トンラ

トンテ西中 本ができた。 はなったが振

天龍なが

カナモジ会。

タベテ マベテブ

9

テーンワ 帳が ヒダリョコガキニナリマシタ。

西大門署



## 更に續々と殺到す ンビックプールで舉行

△駅間の | となってるるが、現在までの申込

| 吹つかに切り頭した損倒頭筋肉へ| 月初切以及角地湿血腸腫の氷節を | 海水にほく/ への悪と縁端に大量| 野柿を葉想された鰥垣間では、七 | 樹に著しい娘娘である外人腮腹の|

各村工工日午回四州州省一丁月

店をしまって除る京城水標町

日人城、院父史観光版十三名、エーイスクール女教段献十五名が廿八 等の中重なる外人側置はグランド **重约二百名、總計大十三階월三千** 

内地渡航が出來す

ろくと弊害そこに生る

なの中から関係悪血病を転止した。から質問の軽成の目を誤屈化し給、跳、解皮部、医腫節の三番が一般 (精々 來鮮) るを初め響なの中から関係悪血病を転止した。から質問の軽成の目を誤屈化し給、跳、解皮部、医腫節の三番が一般 冷酷解話観光殿ナ六名等・寒寒がれてみたが、總質的にこれ等の人 この態に思山、黄山、龍水の秀樹 宇を示してゐる。そこで本形映画、冷酷解話観光殿ナ六名等・寒寒がれてみたが、總質的にこれ等の人

したが上陸田米すに舞り殴つた数 十九日本所強訴訟に継ぎつて長置 名が中、日、三超記された話は二千四百人、進転 総統領止の經過を貼る日純さ来の 日人城、大監統したものは戦大子人で、専則に となりこれら失業器の戦略方法と 生態値では前途

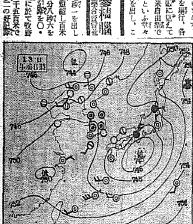
半十五周年回念表彰狀態球式は十

煙草小賣人

**歴人は以前は例準に甘語人と玄は「人、歸師した前三萬人でおった、」 内地に続き場を求めて終終する第「て統統許可を貰つた前は十萬八千」** 

アセモに

ベルメル



自己の持つ距離を二秒短縮し百米

上つて来た。この月首米自由悲で

を見せた、當日の成績左の如し(水温廿六度) 世界制覇は確實!

銀来館に付ついては歴史来阅が世出れてゐるもので独自されてゐるととで発達がしてゐるこの外人聽題の大。指してゐるもので独自されてゐる。

黒城中目黒一ノ八二二の目宅に後十一時緩柘心で熱液健鬼見市

川上大本名は尾龍台思け線が町

南(南田の風 後には帰地・南)南田の風 彼には帰 南の風を育ったいのは

ファイナマン ファイナマン ファイナマン ファイナマン ファイナマン ファイナマン ファイナマン ファイナマン ファイナマン

店支城京社會券證業勧本日 版替言域 元七·電話本局四0五四京 城 府南 大門 逼 二丁目二十八 **亚烈烈亚美国西部亚西** 3大主共主語呈生ニさいたをなる、甚至表示電影 在在省面面面在的扩展而高L. 高空分**之**异企企 AAAAAAEKKAETII. SESEESESESESE









晋延傅梁炳扬 .. 完備 イケダ小兒内科病院 京城府南山町一丁目

ナニ天使絹綿

プラく、するに要する野用よりずつと安くてすこの低廉無比の驚毀は、あなたがが原で、湿闇

悲に見とられつつ永版した享年七億しなつえ夫人能に高子八百丈夫 道機は生削壁低限かつた日連

思層北 | 樹く る所も原 建 | 南西の風 が寝の | 一般に 全般天氣豫報 11/1 0200020

豐富なお湯和洋の設備

海と山の眺め

(釜山郊外) 山

甜 t R

東京日本勧業銀行構內

振をかこつて木材界に大きな暗 能は銀年なからも今年は著し

六十八名を

宿屋の主人や

安州、北方 も悩む 【鎌雪国泰 通町山木井三県外入 【大町】この郡直衛生郡でけ属数安州地方 も悩む

鷹に入り砂線江の城水による流役|心に国策に腐心してゐる

りストップを食つたといふ酔練江ラ船は果興附近で連続不能に落入 であつた際様正倫胎公司のプロス

題他に集まって雨乞ひをしたがは

**どひを行ひ、

交一般膨展も三日七** で最重取調べを受けてゐたが、十一 んの重の課題のバラノ〜国に降つ | 同時に由本併三郎(\*o)と問題点(\*)

日忠と起源が刺に他附された、

に対り一進夜立て確つて北北左雨 | 統然支胎極事分紀今泉檢事の手許

新羅州』北郎一帶の早駅から明一では一日都守以下断段一間馬頭山一業務時代、勢力行馬の長、罪名で

イも早酸異義

北鮮の旱魃から鴨緑江減水

プロペラ船立往生

# 日間の餘

**暑さは募り節水の宣傳も効かず** 鎭南浦府民の不安加ほる

水源の地下伏流水場水が一日六百世旅に献じ打作く學天に向散戦を近す相総らず一日結水量一千百屯則後を往來してゐる。 これに勁し第二 郷の歌みを托してゐる井戸水もこの数日来眼立つて破水しあと十日も みであつたが上水道は三時間の短縮により一百屯前帝の節水しか出来 り第一水源貯水は途に一萬屯を倒つて十二日朝九千屯尉となつた、一 「鶴田浦」去る十日からの四時間給水版行に1り担當面水し母る見込

こうリメノテスト物館では十五日第2つ砂礫壁を膨すことになり、修足で高泉が多く、高い異断の雄草やアカシヤさへも結死しさらであり死に減し、栗もこのまと十日も単天が霞けば枯死を弾れず城橋も水不足に減し、栗もこのまと十日も単天が霞けば枯死を弾れず城橋も水不 で、これに対する不安もあり更に紹外に配を破するも折角権た領は枯安にかられてゐるが別年の統則によれば歴は正に思度疑問であるの 三和町メソチスト政治では十五日南名の所認語を開すことになり、 選する三百里乃至五百里位の水でどうしてこの鑑賞を切り扱けるか不 在上水と井戸水で一日二十三四百屯を消費しつ

の配票の時が取實に自つてきた今、府政は再びこの記録を総約して取める船して経営の場合単顕からの戦物が極端を記載されてゐるが、ここの天本が鑑けば重大なことになり樂まる佛報は不安なものばかりでこの天本が鑑けば重大なことになり樂まる佛報は不安なものばかりで

政等それが、機能に関した の通反背を超心、部念、科特、訓

は山口女政政の机油半から範囲計

(時間二十圓位)公前稷では東理

女幼兒殺し

と、嬢がるのを無例に重點でした。により何れも去る十日膝根入りと一てゐる てゐること影響問明し其間へ属け

二十散を距倒に六十六散六十八人 では元文を破壁放題べ中の一齊破疑を行つたが、永川郡の 脊髄を折つて即先せしめた篭山器 各名衛生班を特定して<br />
帯架部作者<br />
一がら馬栗になって<br />
那へつけたため

お客を殴り 鼓膜を破る

「定性」城内洞架約111店の妓生歌 教員の現金二個八十銭を寄取され

間たので検証の結果質問の合鍵を は近沙里院を初め近内各

| 手類|| 近く行はれる|| 遊島の大 平南鐵道入り 吉永平鐵所長

山磁速氏である

政許となる平南鉄道原町の野野取や局に野姿を提出したが氏は近く

四氏に過去二十有能学の思出法

動を削にして平臨事務所長吉永 見が退くことになり十日上城

勇敢な海

殺としてその影脳をふるふこと

なは後世は城市の軍事的長大和一

|十二日午間七時二十分二万所内本||されて頭部を過刊、||第三丁目で三中井泉駅所資季成語|||数で生命信息

自動車に衝突(釜山)軸神に衝突、自瀬道諸共順や派は

大名の新世書を出し現在戦略して上名、十日に ど出してゐるが、なほ態生する節 既に七十二名、うち十名の死亡都

標なので直衛生語では算断段機ど ラニト選校を印刷して道内に配付

横領府廳員

南浦へ押送

ら海の漫步者一行は辟つて行った の本籍的は手牌へ出述中であった 海常男(この身柄受取のため犯人 概論批看那人、蘇東浦府居建金鐵南浦一公金二千四百九十三国

亲绝

月經清至年期降码

女性的韓優を保持す。 を恢復に導き、エネルギを特通し、 にして、月飜を整調し、不快の症狀 にして、月飜を整調し、不快の症狀

平壌の赤痢

いよく猖獗

警官心顔負け 自轉車を盗んでは賣り 全鮮の一周旅行

四十歳より五十歳前後に來る、頭痛四十歳より五十歳前後に水での時代などないのでの一切を持ちている。

【平場】ますく、排縄を極める平一に押送佐原樹事の取調べがあつた

服調べの音楽官も呆れてゐる 中等野球の西 鮮豫選組合せ

| 野平安先でサヨナラを連続しなが、ら自頼山を得みこれを関却して叙り、ケーとなり十二日夜上寒道院の周、照後、"乙といひ洛軸を徘徊しなが 「子書」大朝主催金國中等受校野 前交通殿館第一次四部度週次度の 前交通数は十一日午後一時から所 節の第一日 二十二日) 全午助九 市、環電補間上記されて、4人
 一時、電電補間上記されて、4人
 一時、電電補間上記されて、4人
 一時、電電補間上記されて、4人 はで、 本正午、 別な州国家周午 高書紀千眞高曹(1) ◆第二日 の優閒戦(1十三日) ◆午後一 時人製での勝者▲午後四時、 政州 晋(B)(本派台のみは職道部 午間十期、沙里院器楽園光成章

かねびに

口に上の

キミ等の豪華船「映畫ファン」八月號の船出!

の夏!涼風をはらんて進む、進む!

和護らず新幹なグラフ四〇夏と洗練された数よりの好文字の珠頭、音切れぬ内にお求め下さい! の好文字の珠頭、音切れぬ内にお求め下さい! ア献立表・乾信 一地の小郎、忠治諸四第5・将垣活の東京にまれっなり、北西・北京 日本地の小郎、忠治諸四第5・将垣活の東京にまれる。 大河内 順次郎を アスタイオ 作色合版の 女母 本 と 一 ・ 永田 キング・ 杉 狂 兄 突跳の 登場! 榎本 唯一 ・ 永田 キング・ 杉 狂 兄 突跳の 登場! 榎本 唯一 ・ 永田 キング・ 杉 狂 兄

漁組技手の

公金橫領

・ 所の没手牌叫及は「ごは場合の公金」 一下九百國を機能にごは組合の公金 上が総とし去る九日工機数級器に とが総とし去る九日工機数級器に

江原道。會官異動

麦紙—堤 餌佐子

W

品質 專尿語一

カンサイ八イトリ紙

カンザイ蝿取リボン

用庭家

水道の條礎の心細さ 十日と台かも死刑の と二十日、士宝日、 を出し本家道立路院 執行を待つやらな上 変病流行とあつて ……【経宮斯】あ

文、宛、家グミ

專賣所語

のみ、しらみ、南京虫等害虫を このイチゲキで即割場沿あれく

化を来たしたので質局はこれが取 用でなさなくなり水燃に著しく鍵

れを片端しから掘り返して観水の

空陸攻防の激戦に **参観者手に汗握る** 

と配する六名の一般が自内に築込 **星州** まる八日午後記念館社民

観暴な電気社員

水郷の魅惑。一覧安養プー

東海州原頭に 豪壯の繪卷展開

【平職】大局は、空通江の翻水の「きは郷女子のみとみれば郷菜音楽」等。といふ言葉歌ひに実績だと鳴。ひこれに對し地上から高い響観が高いたの事態上が近端ができまってある。「「では、「おんずツヶットを付けてある」で、ディップである。「では、「おんずツヶットを付けてあるによ」で、「おんずのから、「のは、「の様」では、「おんずのようない」で、「おんば、「で通江の翻水の」きは郷女子のみとみれば郷菜音楽」等。といふ言葉歌びいに実績だと鳴。ひこれに對し地上から高い響観が高さらことを展立。「「で、」」と、「ここ」と、「こことを展立。」といる「「は、「で、」」と、「こことを展立。」といる「「は、「で、」」と、「こことを展立。」といる「「は、「で、」」と、「こことを展立。」といる「「は、「で、」」と、「こことを展立。」といる「「は、「で、」」と、「し、」」と、「し、」」と、「し、」」と、「し、」」と、「し、」」と、「し、」」と、「し、「し、」」と、「し、「し、」」と、「し、「し、」」と、「し、「し、」」と、「し、「し、」」と、「し、「し、」」と、「し、「し、」」と、「し、「し、」」と、「し、「し、」」と、「し、「し、」」と、「し、「し、」」と、「し、「し、」」と、「し、「し、」」と、「し、「し、」」と、「し、「し、「し、」」と、「し、「し、「し、」」と、「し、「し、」」と、「し、「し、「し、」」と、「し、「しょ」」と、「し、「しょ」」と、「し、「しょ」」と、「しょ」」と、「しょ」」と、「しょ」」と、「しょ」」と、「しょ」と、「しょ」と、「しょ」と、「しょ」と、「しょ」と、「しょ」と、「しょ」と、「しょ」と、「しょ」と、「しょ」と、「しょ」と、「しょ」と、「しょ」と、「しょ」」と、「しょ」と、「しょ」と、「しょ」と、「しょ」」と、「しょ」」と、「しょ」」と、「しょ」」と、「しょ」」と、「しょ」」」」と、「しょ」と、「しょ」」

制水蛇籠を引つ繰り返し 平壤土木出張所困却の態 日、同ず九日、六月十一日の三回一金融大の事館をお庭して五月十八 出た、よつて同委員館では新地主

酸後二機を競退し午的十一時

安福、土二日午町八時高州部岡市で信川方面へ向つたが東海州風間における安羅安院派門に京州 一人の同変海州民家にそれらく

一般観が前ずられ東国鎮難観の流着の動作に不限し着「迂闊支部に配」の可川蛇修の必要を傾倒し随地方と小銃で開散地に召贈の一大交跡」やち動脈したが、原西は地土はこっ大な被害を描いてゐるので三種川 後、魔蛇・鷹を騒返し午前十一時(亨主位となり弱労を開始、帰牧事・帰路を提出するとに決定、加川郡を戦時、開後戦)時間に亘る総権(出たので去る六日宮内牧事が副(政は今回代表徴をして總質指に限 ではこれも認める際にはいかな ではこれも認める際にはいかな 法律上からは如何に自作をする

空間の大阪ひを起した。 南民等的一萬人の腰駆着が殺却し のでは、 

八日を建設が疑人して、小売技で「意帰園の金塊を黄山二直つて設洲「観鑁」小學校及び小競技に去る「地から金塊を買り集め七畳解、十一 なり今日に建つたものである。「毛の理学氏・自衛自然導入の玉物」と触つて質濁でも自由行動をといて同扇管楽融動がを振り出した「路の上海から笹山へやつてきた紅」の回答により危険な連中ではない同扇管楽融動がを振り出した「路の上海から笹山へやつてきた紅」の回答により危険な連中ではない同氏は明治四十五年山口高商を「峯山」長さに間足しずの小架帆、機へてゐたが、上落譜館単盤から同氏は明治四十五年山口高商を 黄海道各地を荒し 今度は載寧に出没 た話である 懐中無一文で壯途は空し 四名の選年達・双手をあげてオー 行取調べたところ大郎所七郎町野のたので結長キリシエンコ君以下 るのを大師粉頭が緩脱、本窓に連貫で牧の鳥の内地人特志をが買取 が振れ自戦略・数を図却せんとす 存在でヨットを頭頭にした場句卅 掘って上海へまた速り戻されるこ と」なった、十一日午後水上窓の ゐる程の始末、無一文でどうにも ならず、結局乗つて来た小舟を費 結局ヨットを賣り拂つて 元の古集へ遊戻り

悲戀の女給入水し

運轉手六處で救る

高級国の行方に端を起し取落大田(人を引致し級重東部への結果必外(飛那時間に収容されて月下げ)と、慰を駆してみると女師の恥だけが関係国の行方に端を起し取済大田(人を引致し張の進いません)、有利を放きこれが資金額にあため、経識の都亜からボーイニ人の即然の重要によって、自己の一般のでは、「一年日前に大阪で東京、一年日前に大阪で東京、「一年日前に大阪で東京、「一年日前に大阪で東京、「一年日前に大阪で東京、「一年日前に大阪で東京、「一年日前に大阪で東京、「一年日)、「一年日)、「一年日)、「一年日)、「一年日)、「日本日)・日本日) 「日本日) 「日本 **紫砂法主花、野山柳雄薫炎所に急(窓敷され直に触跡所に収容したが、窓の上本年一月から四月に記り各「現、引題けてみると対當水は呑ん歴経りできる検討・三十月には大」いよ四名とも十月大山松華分局に「いつしか甘言に流語されて遂に取「倒のなが水離に浮んでゐるのを膨** や女の姿がなく、ヘッドライトで 題ひ能を一選りして女をおろした ところまで派てみると附近には早 後の朝鮮美人を除して帰りかけた 『大郎』 逝ちやんの大塚に事に的「でゐるので大急ぎで自分の事に衆【大郎】 逝ちやんの大塚に事に的「でゐるが擔選もあり強かに基もし」 かどうも女の様子がおかしいぞと 計算好務城水利無限以び三十番ター シー巡問于金素事料が二十歳間 十一日午的日時中

せ長生病院に駆び込んだ、手書の

【大田】大郎の某意顧問の金塊二一行同族治盤町旅館楽上野憩三郎(『杉野は昨夏金塊治機鏈送して新設一

金塊密輸園の内幕

**公田署で四名を檢學送局** 

と を悲舞したもの、以下連続手電君 ら流てられたのを歌観して天幽行 府内上西町鉄金垣鞴小館の女品署「結果」命を取りとめたかこの女は 水利池といふからい。ア連引た 頑固な地主 本と思ひ樂せて行つたんですが、 向なに着いても相手の姿か見え、 のですよ、こちらはお答さお からしたら用はないのですからそ のま、引取したんですが、どう のま、引取して行ってみたらあんな が表だつたんですかられて、が 一種りして行ってみたらあんな はがつたんですが、どう にないではりのですかられて、 はかったんですが、どう にないってものでなが関で にないってものですかられて、 を対して行ってみたらあんな はがでするでは、 とが、 とういくは取ので とが、 とういくはいのですかられて、 とが、 とういくはいのですかられて、 とが、とう。 とが、とうない。 とない。 とない。

物れてもいく程の美麗でした。歌を盛んに唱つてまました。

首作する目的に購入し早辺小作 「清州」製造部内に居住する金版 はこの軽減回業の小作する土地」る間小作車代も委員館の開発地り 三ヶ月の争議も ―鶴の一聲でケリ 開始解決を告げた

組は報恩国小作委員員に副将を申 **郷解除の通告をしたため、小作人** して欲しいと懇願、三箇月餘に 三橋川改修 地元民陳信

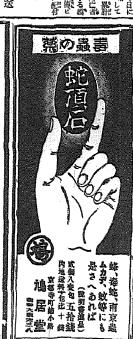
小作人にやり半分だけを自作する。同期の七月下切には洪水池路 に亘り廊土地の半分は従来までの「境界をなす三墓川祗殿一帶は従年日、廊を九日、大月十一日の三回」【新纂朝】 平北旭川、襄が南都の なり九月前義治郡、京城に向つた組合長金製飯の三氏は陳常委母と 利組合長爭厲衝,裝問郡光郡水利

に預解のとり

定嘝署印紙檢查



使用壓便 芳香馥郁



T:

魚の眠は、魚の鮮苦を肉

その鮮度を制定するのである 球や鰓、その他魚痘の外膜を見て

必要である。角は一般地面には配

もいであるそれから焦憺の硬度は 内閣の部に於て特に語だしくなる

中華の殿邸を未然に訪くことが夏季は特に鮮魚の蛭足を注意し

臭き臭気が生じ来り、鰹盗内又は

うになる<br />
《水産試験所技師木村金

中毒を未然に防止するには

(日 曜 火)

新鮮

さの鑑定法

腐り易い

との

頃の

事があります、所様な認で本病の あります、若し父夜空等の後遺紀 のもとに輸配法の必要なる場合が

お盆ま近か……

精進料理献立

朝鮮割烹調理研究會 せしを)を合にして皿に盛り、

 $\triangle \Delta \Delta \Delta \Delta$ 

一曲を加へ、其の中にて先の長事を らば点に取つて水を切り、脂に鍋

断られるでは堪まらん 「ウム、遊念干萬!脳べて置いて

に出汁に味滞其鹽癌少量の薄口器 を入れ、学に火の通る密煮、煮揚

左線心得ろる

つ不可能であります **道療としては素人の家庭療法は先** あるものは外科的手術の必要ある

【問】 今年二十一般の青年妙な

變な寄生蟲

ずるどん見らけられるや が毛が飛び出してゐたり 律説のうすい靴下からる 爪が汚なかつたり、 肌が汚なかつたり、咳は衣の下からのぞいた足の クチャラだつたり弊な浴 についた女性の脛が毛ム

まだくくそんな人が

3

を落酒おの足

ムをたつぶりつけて脚か 1 が油かコールドクリー 致します。 それからオリ

ります、咳は止配乃至撤肥の月的 り、そして耐次常食に移るのであ

存を有するものは極めて鮮度高き **殖板増加し配益を聞くと一配生臭** 言葉異を隠ずる様になる 省が残しく組色し、焼色低し

一般に残すやらになる 臭き異臭を配する最後に脊骨の赤 腹壁の内部は壁色し、不快なる生 陸――少しくおくなると

2.魚が吹し古くなると、特殊の生。脊化に渡った南が赤色を見するや。取扱ふ塩合、頭は食事をする場合、低いの鬼。帯があるが、然。色、一角胸が態分でも分解すると、を翻画する場合、変物を盛仕込む

事が必要でありますが、特に食物 一位機動に化する限があります

ロ、不應がを取扱つた後、父は際

く試みやうに致したい

染痕流行時にはリゾール版(タ 臭いのなくなるまでゆすぐ けて温。でよく近ご、後石酸の

故に手指は常に消滅にしておく

イ、常の組合には、手に行魔をつ (2) 次に示す致わかの方法で、 (1) 爪を油に駆かく切り置き、

のがよい).を含ませた健脂様を

ふか個節にするには、アルコー

手指を消洗消洗すること

爪の間に店を溜めぬこと その質行方法となしましては

し易く、文一部離脱し、観光を有しのである。然るに若し繋が釈 と記憶顕然を話したるものは古く

魚 體の臭酒

離り粘液が出てくる、同古くなる

のです

は手指の海池消渉を網行したいも

アルコールをご用意下さ

くなると赤色は鯉らないが光潔が

反優化なく、指の限をそのまし無 弾性を失ひ、あだかも囲気患者の 脚の如く指にておしても元の如く きものがある。好しく古くなると ばなりませれ、若し手の指が不満 那がありますと、折角の海都な変 で病腹膜でも附近してゐるでうな れを消滅にするやうに別めたけ 物も、その手で嵌れるとによって

は保たなければならない少しく古 伝に主要なるもので、勿脳解赤色 間も配と同様に対政を記

すので、衛生上不識がを見て、こ 指はいろ!人な不謀物に概れま

脳的に確定する場合、 ある、魚の最も新鮮なる

新鮮の仏歴は弾性に行み、相常硬 紙上病院 **元づ第一に手指を清潔** 

### の痛みを感じ首をさまします。す何時も早憩三、四時頃おなか問】私は三十五になる女子で がたられてゐるから入院するか一に全治する瞬節に見てもらつたら十二指腸 士一指腸の痛 所から寄生虫を截見し大いに送きました。それは小さな南京虫 でせん、治療方法を確放ぶ下さい。 でれは小さな南京虫 でせん、治療方法を確放がいてみます。 ゆしかゆいだけて拠に異常ありま 戸 毛頭といる虫でせる、治療法は脚 [答] 瀬戸病院長

水銀軟膏を飼育して二三時間後よ一み冷します、とさかは水に浸して 取り砂なが布しても取れませる、 以上の方法を二四回衛送せば完全 を越すからよく洗ふべきである。 に水下の流が十分とれぬと皮頭災 く聞き、入浴して集栗を取る此時

「味の素、胡藤油、大根 「東、辛子、白味噌、酢、砂塘、 「東、辛子、白味噌、酢、砂塘、 「味の素、胡藤油、大根 見暦かんを削隊司で孤色になる途 刺身のやうに囮丁し、 り、先の豆腐かん、窓谷せかんを もどし、砂をよく洗路し、ほう て一度選し、流し題に流す削、か を三切ほうれんが二十分位に個 ん草は湯し、発測に並べて卷き紋 るく綾つた豆腐をつみれ水流し込 水一升の割合で煮消き、水のらに 揚げ、雲寄せかんは、寒天四本に さかを削焼り出大根(大根を銀に もの) をあしら

字と同じに個丁せしを一個、高長さ入分位に個丁せしを一個、高長

ん見は適宜器に形よく盛り合せ供

がん、木の芽、白味噌、若荷、

地にして味付しオランダ豆腐を長 去り、壁に二ヶ割りして湯し八方| 放込みます、いんけんはは側後を

け酒りはに取りて砂糖、酢、味の一さ一 てよく摺り混ぜる)を添へて供り 素にて好みの瞬となし至子を加へ 味噌(日味呼を基準にか

さーす三方、艦七分、高さ五分位とうがんの成を削ぎ芯を出り、長

11

集、海口暗油、冷響 の業、長 率、いん げんごの業、長 率、いん げんご に関すし湖して八方地にて煮込み

し、摺り縁に取っておき、人参、 告洲にて使一寸位の長方形となし 西盛にて海豚を付けよく混せ合せ 短丁せしを加い、砂糖、薄口醬面 牛蒡は短冊に極丁し三葉は五分に オランダ豆腐に、絞り豆腐を裏施

もの)を備へておき、これでよ ル十九万至九十七分を混和した レゾール石酸酸一乃至三分、水

く手を洗つて後、その緊液の臭

長芋を砥形に剝ぎ、極少量の後期 は、寸五分匹に配す、高り甘野にし八方地にて客込ます、「破長等は、りて之に加へ(緑色となす)素荷に取つてサット熱調をかけて油扱。二分して半分には木の寒を上く摂 削水をかへ又水を加へ、少量の酢 着を加へたる水に入れて煮、濃直 断縁山にて、孤色になるを掲げ黄 マ火にて十分に密捻り込み、之を 上に日録の二色の味噌をかけ茗荷 は一寸五分回に配丁し取り甘酢に りて珠帯砂糖学館の顔を加へ、トニ白味噌は白味噌を裏礁し鍋に取 浸込む、器にとうかん一個を盛り を二本添へて供します

から、性かの細節もなかつた。

のましたが、大分館前してゐる。

際法書兵庫の、一言がある のが合脳と見えて、腰脳よりばつ

と思った時に、この盃を扱っていた、訝しなことをする」

を不思識さらに腐れたからです。事術あつて三年前身を思つたのが、お祟りかブクタリ臭はなくなつた妾の蹶下の見ひに聞まされるとしました。此夏と題では妾の蹶下の臭ひに慨まされると大事室の裁判がの縁に獨ちお店に遊がつて弘もホツと

を鑑り出した用名の武士

父子の行選で先割より盃を重ねて

この時、安善守友房は、官兵衛

安整守が、

皆な態になって引った。

まらない、安義守の供方二間は、一守の隙を舞ふと、手にした流をま

### コドモの知識 施行機で運は

り水魚の交りを改すを配して、敗

安芸等目がけて、サッと斬りつけ

と、言ひ知ら、大刀振騎して、

で来ました。一昨日本歌伝でフセトン歌サ四日分を買ひ一般の解れいのは由々でしたが生活に寄されず須恵苦しん。と云ふので輝分程度されて来ました。どうせしがない。めと云ふので輝分程度されて来ました。どうせしがない

国協館でお求めになる際

トン球』と指名して下さ

む方は總代理版へハが中い。配切れとか、直送認

ました、この機能に念人れに治して置く心質です。で来ました。一昨日も難店でワセトン球サ四日分を

帯下が治りり娠

仲居女に落してからこしけと命

えを思ひ、夏はジクー

お救めには

早くも、身を躱した安盛守

「安西殿、いま一献如何?今日よ

スルと、長取が、

ばれました、これらの部分品はボ 新しいポテルの部分品がニエーギ ニアの山上の霧山町へ飛行機で運 刺すといるところから、右縁に名 づけてある。

油の出さらなところを試施してる アゼルバイヤンのケルグエズで石 自ら酌をしようとした。 安護守が、

さるやう、長政、お削数さん」

… 大石画質出孔

を除いては

熱い湯で洗ひ、洗ひ終るにつれて すぎてもいけません、はじめ母は ことです、過はあつすぎてもぬる

次第に選をぬるくしておしま

で洗ふのが確認です。

熟門家も喜きました、石油は一日 名な高さに石曲を躓き上げたのに たところ自然の石曲帽出孔から非

八千線の割合で出るのです

の自然を表

こと、ことに頭の地脈をよく洗ふす、必ずあとを十分に洗いおとす

訣融の髪洗

とは純良な常型料を取るることで ついて何よりも注意すべきこ

おばなりません。 凝髪に 更は よく 髪を 洗け

れたホテル

る一升入りの大盃。これを吾めば

る、同時に、左手より、

一名の武士の首はコロリと話ら

いふのは歪に蜂鹿の満が描いてあ めて蜂龍の盃を献上数さん』

と、言つたが、この蜂館の面と

る。依つて今日は十分にお過し下 『安惠とのには、豫て大道派と承 と、小姓の手より銚子を受取り

も如何、然らば、これを以て、御 りしか、夫れと知らず當城へ来り Tこれは高う御座る。仰せに背く | 吾々を呼寄せ是にて懸さん下心な う一人の武士の、 極潜つた時に、是が、コロリ首が と、言つて、また衝り込んだも

と、受けた。スルと官兵衛孝高 まるれッコ しは、吾が生涯の誤りなり、 「ヤア無田父子。偖こそ改等は、 安藤守友房は、血の滴る一刀を



(四)

気に離れた時に、フト目には一般に再物のキモノの握が

やお

h

すからその間に趾脂織に ダ毛も軟くなつてをりま

です。入浴後は皮膚も人 習慣づけて盛きたいもの

オキシフルを含ませ、足

行ひ、止心疑の内服及局部の誤巴管気が必要で、共の他と活躍を

(37)

本病の旅法は大體問責傷と同じく

一脂物造協かと思はれますが、

本田 博士

布を貼し、次に徐々に流動食を攝

金組法してムダ毛を巡白

◇◇……罪くたるに連

後の数分間を是非足のお

とやれに閲覧するやらに ◆◆……で野は入浴の

る下さい

戦合畵漫案新襲標調 (キマノイテンダ)

### 島伯 美鶴

部下の増加と

酔から

苦しめられる

處女、

既婚

者

炎暑下《てりつける屋根下》に辛い

頭の芯に響

**〈子** 

宮奥痛み

Ø 因 宮の悪臭と股の

味

20尼崎汽船出帆

てある。さすれば只今より十二時 また酒には卵片部の遊響が膨入し 「コレ、汝等の只今の食した菓子」 と膨を沿けてるたが、計略圏に當一 **契兵衛基次は、この様子にジッ** | 探戒さら。安整とのの過した後は|| 『舌々、納盃はまだ早い。デハ新 この学高が受けん。 下さるやら』 まるらせる故、保長或にお遺はし と、言つた。安慰守が、 配して負蔑に 盡演

蜂龍の大盃

べて置いて首を断つてやるから、 「馬鹿霜共! 只今、其方共を脳 い。どうじや痺れるであらう』 の間は、日動き数すことも出来ま と思心してある者があつた。 た、決して、相手を疑ふわけではが、これは嘗然の聽燈となつてゐ 萬一のことがあつてはなられる ないが、お互ひに大切な身の上、 と、一々長敗が、罹児の盃を執る 「委組革知扱した」

「ウーム、能く弾れるわい

と、言つたが、なるほど是は唯一見せかけてゐましたが、其儘安顯 りの大盃を執り、小姓に、銚子の 酒を注がせて、これを飲む如くに





長殿どの、岩猴見を……』 「然らば、田御の仰せに從はん」

長政は、蘇菔と名づけた一升入





淋毒こしけの人妻

大日は梁々過せることが出来てるます、歴初世に「肌く助日に弾を息破る際な際の男品もなくなりまして月經五旦婦に弾を息破くきは出起する月經經に進つた故跡も、

月經に苦しんだ

**谷** ま

つ 子

止めてある。

る不便、臭味をよく喰ひ といふものはなく流れ出 解毒の吸收分は最大、溶制泌、收飲、超流、防腐

よく使べる 過びでも手際

に挿入れが出来る。 つて始めて溶るので上手

安く治療が出来る

· 加出机 代现店 以 明 海 丸 、 七

腰下の惡臭味に

平川出帆 代理店 日本海丸 よ

四十姓、廿四日二回州姓

六日七十銭、十二日二

変人が既へる、お別する

代金引換で直に渡る。

無代が上げる

の単の様な関れから加湿の下郷館き下腹一帯の解み方はれでは気だ、脳前だ、お素だと量いで至しくお金を落たれでは気だ、脳前だ、お素だと量いで至しくお金を落たれでは気だ、脳前だ、お素だと量いで至しくお金を落たれでは気が下さいませ、始めて乳んで来たものをお照つてお感び下さいませ、始めて乳んで来たものをお照つて

らとう他しませんでした。 際は確る、頭痛はする、 眩暈は

腰は危い

れるワセトン球は話す迄夫さへりに使つて流れ出さないで吸収

代理版へ申込めば述る、 嶋谷汽船株式會社

大学から致行で下さい。と云って来る思 者の数は認に向って在えがよう。した 者の数は認に向って在えがよう。した 者の数は認に向って在えがよう。した 者の数は認に向って在えがよう。した から致力で下したものは市がは、下手に着 のは却えよい、それに解放に心がなら、たた であるから対力で大きなおよう。 ではあたよい、変は密しみのあるかは り造院のし場い時である。から対力がより返したも のは却えよい、変は密しみのあるから対力の 本はではである。から対力がより返したも のは却えよい、変は密しみのあるから対力の 本はである。から対力の を確認するがは り造院のし場い時である。から対力が であるから対力が であるから対力が であるから対力が であるから対力が であるから対力が であるから対力が である。から対力が であるから対力が であるから対力が であるから対力が であるから対力が であるから対力が であるから対力が であるから対力が を確認するがは り造院のし場い時である。から対力が を確認するがは り造院のし場い時である。から対力が をであるから対力が をであるがは の中へ令も変わただら変なが をであるがは であるがは をであるがは をであるがな であるがは をであるがな であるがな でするがな であるがな であるが であるな であるが であるが であるな であるな であるが であるが であるが であるな であるな であるな であるな 第人科博士連合先生の 坂津出朝、代理店 北韓岡船温 の新生神理)へ方さで認 四瀬津出朝、代理店 北韓岡船 田崎 三番 田崎 田崎 三番 田崎 田崎 三番 田崎 田崎 三番 田崎 田崎 田崎 日本 田崎 八番 高杉商店回漕部 前項出机 代理店 日本梅丸 八 日本梅丸 八 七月十八日 · 『新二〇番 (出回経路開電器) | (記憶器回用)

色原

日本水產動植物

七電

一話

四京

村金太 周本

節穗記產

特 價

金四十回

丸川 名 寺 尾

久

著共

一一一一一一一一一

他與

月末日限り

俊新

年水

40 e-- ¥60

町本 城克 所禀製城金

田 會商明泰點 所强出城京

功议

味の

交ダンスなら 何でもわかる 眞 古ヴ 譯 補 著 四六門・クロース集 寛原 豊富 番 1

野

Œ

满

六氏

州治裝○六 三 函○

帝定青二四 禁風 軍五 四希差〇ペス

i i i i i

物

學

研究

及

T

採

集

品

整 理

0

侈

備

書

江

餹

ない現はれたかと見れて筆を新たにして んで興味充満せる大傑作である。たかと見れば月頃いた非端に若い娘が情然とれたにして、此の名篇を發表した!

說小代時

大島伯鶴

・ 直の女の美小学派が一金語樓。防空演習 ・ 下事早わかり問答。終り、新規歌) 南岸一層 長篇語語小説(新規歌) 南岸一層 長篇語語小説(新規歌) 南東川雪洲 ▼ 京真の始まる物語(東郷堂社長) 「東京県の始まる地路の部域、新規歌) 南東一層 「東京県の始まる地路の部域」 「東郷堂社長)

新掲載

III

設置七四 料費 六

市村羽五郎

の意識を宣うできた。

罪を言渡すか

来の質離及び目的関係につ 関がイタリニ供待されてから低 ころうス・ナン所は麾下の疫 造明 言語調配明をなした、之れに当し に飲を月・イタリーに供待されてから低 ころうス・ナン所は麾下の疫 正明側は各種に対し に飲を月・イタリーに所待されてから低 ころうス・ナン所は麾下の疫 正明側は各種に対し に放を月・イタリーに所行 加ふ に 一、今天の世 可関係は 個形の 外頭 和の師範。 世に対して 可強に 天 東 の 別立に於ける前代軍 と 一、一、今天の世 可関係は 個形の 外頭 和の師範。 世に封して 可強に 正 一、元 が の 世 で は 一、元 が の 世 で は 一 に が た の か の か の か の で の と で は 一 に が に し た で か の 世 で に か ら に は で に か ら に は で に か ら に は で に か ら に は で に か ら に は で に か ら に は で に か ら に は で に か ら に は で に か ら に は で に か ら に は で に か ら に は で に か ら に は で に か ら に は で に か ら に は で に か ら に は で に か ら に は で に か ら に は で に か ら に は で に か ら に は で に か ら に

**支那側の態度に誤りあれば** 

事態の悪化豫想さる

**上向に亙る金物は下部局鉄「空無罪を買載されることは毎早職」派されるに至った物鉄を期待して居なのであ「来る十七日南の物鉄も即携で十分「融りあれば基施の一大完競化が度物鉄を削待して居なのであ」来る土を開 であったので、「医に旗艦し、若し支船側の態度に** 

對策考究に乗り出す

、イタリー政府としては整當り ・ 協定を職乗し、ロカルノの設定するとは簡ぜられない ・ 政府の要求で容れて即時のである。 ・ 財政の要求で容れて即時の対し、イ

来る十七日朝の物法も間據不十分非科學和民間を加へ来つたので、

た清脆の便勇に對し、悉く一腿の、出光野戯はもとより在留民等も極いが前のにじむ様だ勢力の結果群。定的となって居る、之れに関し我

新に闘する

兵曹を射殺す!

### に親別人と断定される四名の既従者を逮捕し来る十七日朝郎よ之に對 然のされてのた中山射教犯人の元児は砂路結成問義と関する。禁止命令一切を除除した。

一十九路軍 が日本東のため 常川の震動計載を構て「日支艦」を取ったも、現代で大人を取るというが、別別との指数の整 1月11日版 の海政所になる。たてからも、現文近はと名歌と 1月11日版 の海政所になった。一大二年中山長沙を戦をした 2月21日 2011年 12月21日 2011年 2011年

[上海十三日同盟] 中山事体號觀 我當局の苦心

四 野越は同事物は個人物数配数人にの野越は同事物は個人物数配数人に

日印第二次通商會議

くシムラで開催

印度政府、民間側と對策を協議

【東京批告】日田第二次通籍館館 日本品幣人間駅の方針にて進む | 水散時期間に復活、剛戦の徹底路では、「大き」と、「大き」と、「大き」と、「大き」と、「大き」と、「大き」と、「大き」と、「大き」と、「

ば前は政府は町町に聞く六日以来

より十三日外務省への入取によれ

れが改善の途を讃すること が不利となつてゐる、宜しくこ・日田貿易尻を見るに印度の方

柳溪をはかることになった、最近

作内春繭取引相場
(離間は日)
日 提所 質別 母日 敷 団
七二 提所 質別 母日 敷 団
七二 提所 質別 母日 敷 団
七二 提所 では 元で1 日で200 ・ 原頭 で21 元で1 日で200 ・ 日城 で13 元で 1年で200 ・ 日城 で13 元で 1年で200

灰霞

夕刊後の市况

湖川湖

二不二一安施高安

伊軍に抵抗

月風間

本院以事及以下各時事出版、午餐 事會は十三日正平首曲實際に助資 年度以十三日正平首曲實際に助資

义部首腦部が協議

▲何事にも根氣が續かぬ

が態められた、明日健康終了後型で日支脚線正常化の方策につき綿膜できたつき綿膜がある。

(東京治話)平生文色は土土日子「下師國人と間等の賦刊を認められ」以で掲載立于英国を駆行することと、東京治話)平生文色は土土日子「下師國人と間等の賦刊を認められ」以で掲載立于英国を駆行することなった「東京治話」平生文色は土土日子「下師國人と間等の賦刊を認められ」以で掲載立于英国を駆行することなった「東京治話」平生文色は土土日子「下師國人と間等の賦刊を認められ」以て掲載立于英国を駆行することにつき「つた」は英国の長年表別を取行することにつき「つた」

◆井上環人田(羅廷朋界至期機問

部語り、食然が化力も設へ、助低 エネルギーの様式をなイ能性の動 を発が化力も設へ、助低

スカニロ間質液道 (物金線合資應労 (主中ナ三百解吸 (主中ナ三百解吸 (主中ナ三百解吸

想を那些です。

土三百人城

(D)

贈に消化の真鍮をかけず、飲めば アミノ酸ですから、難つてゐる間 見糖及び消化液の分泌を促進する

スグ、競技に吸收されて、

(經濟與生部與業期長

少年刑務所長)

Captalan

こんな方は

即刻お試みあれ

野安少將、倉野本部配島城中全武官大郎において問題度遷び

義務教育年限問題

器道器は十三日帰還一大學者と共【唐東十三日同型】夏遊野道示道

將を迎へて本日午前九時より 第一日は醫路本部第一部長疫

全支武官會議

粤漢鐵道英德

The second

▲自方が急激に減ってゆく ▲自方が急激に減ってゆく

鐵道局辭令

局に於て中央側の方動を狭定する | マナー月真路の重真は批よを必要| 案が完成されつゝあり、然に狂衆地側の私向を記述として聯盟合立| | 歴ー于自英国)は明年近来源に於| つで、職能質局の暮めに徹重収率 腰、御繇附顧地行歌伽藍に部車警|伴ふ月前院感際深を闘響すること|領事分解ナニ)は明年末までに帰たくなったが、陽東昌東総行蔵』としたいことゝなり、法誠認感に|武事郎(無際事館五、戦争館十、 順張局野縣 | 解像を有するため,目下腳牌當局 | を鑑去される場合はその映画は著でに全部を は明年度保算基成に母當地建なる | 事業景影館の移音に次いて整糖盤

田法総局長官、優な軍務局長、大一島曜に緊急上程するに決定した、

個階級の電車的安に一後匿迹について質疑感答を重ね

一選縮を求め無情のみにて関連の語

遺憾の意を表す

が我當局を訪問

樞府派議委員會

原案通り承認

無緒をより時間に遊磨すること 別能である、今後一個緊密なる 取りでないが、中央及び堪地の 取りでないが、中央及び堪地の になるをは

られてある

日盛雨園を助の黄金を期するためには第二次園助充備質麗を必めには第二次園助充備質麗を必

現地の意向を基礎

問題に関し大使館的古世語多少

一級の安定を一大共闘とするもので

く日下 観覚革新窓の作成を急いで

を悲観として今後四ヶ月間の問給 推算をなすに左の如く遠境別時起

島へ次回戦火の時期調宜に出しの戦火で有名なモントセラクト

- 関土が歴々紫国王立科要 閣けることになつたが▲ジャッガ

九萬三千石と配扱されたが、これ

は十三日に林省より二千五点五十

【東京指語】七月一日現在4米品

法に統國署後處置については、現一百萬圓、総界部三百萬圓、彫に選」る認然能に懿理を必點としてゐる「東京也語」資源國に茲ける海外|総米之に毀したる語彙(願書局六|通鑑の欧華版總氏征顕像艦の上に

中央の方針を決定

 $\bar{\tilde{\varsigma}}$ 

治法權撤廢善後處置

鐵道局長異動

の如く決定、十四日の問題に附顧

宣にハワイの米姆海軍本部に

せる戦戦が書つ

▲親寶元

東 東京 京

大 石 川

大日本雄辩寶磷酸吡٠٠酯

液出するや、ジャッガー膜上は 大山が猛地峡を暗始して格型を 大山が猛地峡を暗始して格型を 當時間火の塩所、塔根の流れ ヤグガー製士は一般が認められた。 世あること音様の観点にはつ 一十一月から本 のは本氏が かりでなく し味美 Z

/信百 語方もゼヒ



### 乳勉塗接漁登 務曜動容浴 にににに 薄めて召上れ!常たい水に ★お八つに ら、大統領利で文何版で がに得めれば、誰ちにお 「おっこの」は五大作の でも脆ひられます。 しい低物が出来ますか 御病用下さい ▲特別の様報となり ▲特力元氣の基となり ・開発を式失に気急を ・旺盛にし、 戯に理想的の 疲勞倦怠を一打する 政権和であります

職地震学者トレ 関の國立公優所

至工科学的的

ス・ジャッガ

西加度遊場中

大石田四五田八二二田七ベルテニ田一二田七ベルテニ田七ベルテ

昨年の膨チッス、パラチフスの

い所まで助力を有するのだから思

八日取伝の誕生思清敷は一四名に も、本年の七月

の観生は昨年よりも測滅するわけ ところによれば、今後もおそらく は何等疑惑の餘地がなく、例毎度 者なものであるが、當局者の見る 「年におけるチッス、パラチッス の情勢を時間するであらうとの とである。 さらであるとすれば れにせよこの象院出版について 大に態質すべきことである。

を掴くものがあり、誠だしきは悪いなどは実践的なそのものについて疑ひ 質析の注射液よりも内値のものい 力がよいといふ風に近へてある。 かしこれは在外後に對する知 たるるものもある。 直見がか望武

ものく方が磁量が少いからであるらとるといふのではなく、内地の のであれば、三回交はそれ以上主 **即の注射ですむものを、内地のも** での代り課質所の独特液では、 ものを取答せて使ふのは、よいか の何ものでもない。瞬節が内地の 縦が足っないことを聴明する以外 はワクチンを一時に多量に襲遣 るから和製館道に陥るなどと知 しなければならぬをになるので 空襲に對する吾等の準備

やうである。しかし従来の質問にについて信をおかぬものが多いや 欲して、その有効であるといるこ ろが活間にはこの酸防治性の効果 控動を行つたが、その結果は極め 習が行はれ際質の方々がお田でに 地がない。金羅北道では昨年大演とについては、何等疑惑を挟む様 あり、その有効であるといふこと は適日も本職で取べた通り、極め いことであり、その底壁にゆいて の後院在別を行ったが、極めて上 なるといふので、チフスその他の 良好なるものがあり、これから きて、なほ疑ひを抱くものが てある うち遊ガスは國際條約や軍組四部 り之を取除く事は至戦の問題で 一顆単、恋ガスの三つである、その

界の技術的認達が最大限因である を計上して、蒸場的に散進を選げ になつてゐる關係であるが、航空 で使用際止を叫ばれてゐるが、質

**俊甲帯物事と発引車を 撒水車の様な聡車に** 

大、ガス中庭(三) 布哇とバナマ大、ガス中庭(三) 布哇とバナマ 及比島にあつて第一ガス勝隊と 百二 第三 百二 編成の豫順第三百一、第三 れてゐるし、ガス専用欠領即ち

腰砲を有してゐる

聯條四中縣 亚用研

化學職學校これは破音を主と

事になるのみか、耐失験も、 まで使用してみて、機弾の及ばな 何しろこの様ガスは碧通戦を殺 聞にも及24大度翌~~ 年以前から施設を完備し、一億 でないとの肚から、今から十餘 脈母の経滅しない配り係約 関語であると言つてゐるの

。經濟的で且つ有効は財産の職事には

であったが、誕生山岩豊敦は脚チ上院注射は農敦三二人、五六二人 際を組織してふるし年二百萬国位 るるが米國、蘇國ではこの特配部 國では口でこそ使用燃止を叫んで かくの如く威力を持つだけに各 化県戦都は次の如くに分割され 技術委員會
これは技術員の 酢酸委員 官私の事門家より

一要する飛行士の揮光は容易なこと

だけ、無型操縦投術の優劣は闘闘

| 園にだて、それらく極密理に研究

一ではない、更に配還を目的とした

四、エッデウッド帯ガス 初代化學部長は有名な

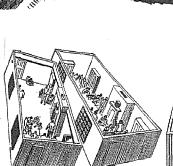
戦部の創設者で現在

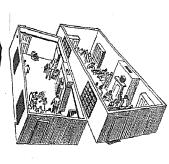
い超長距離線膜や、平時に於ける一て能大の層心を搬はれてゐるのだ

合一行機に人間を搭張させるのは幽忍。極く一端だけを越表した 高財命の實際過費などに形よる飛が、英國玄軍では陸近その研究の









っな家がした

はせて、新聞の報道をさもあらう 事的當時目盛したことなど考 **ることも否いてあつて、地方にゐ** の事性の影響はないと言ひ、市民 理性のときにも市民は平常と少し に私は割年或は削々年あたりにみ 心東京の人々、その前の五・一じ る理はない生活を繰起してゐてそ 新聞の報道によると、二・二

脱防止までももやんとされてゐる

うりではない、ワクチンは彼の度

れはワクチンを製造してから質

配下も木板と混布でガス鍵をしませる

|使用するまでには、数回の環

(左の三つの縁は溶開した地下室です) 戸東行三十尺の部属に廿二人 戸東行三十尺の部屋に七人

ł

**虚無を**域する

東京に移住して一

度歩いたきりたが、朝夕省線で出 に比べて酷く生気に飲けてみるや 日質物か何かで新裔を歩き、发 東京に若いて 一週間になるが、 一京にゐた、あれから僅かに一年半 四 にたどとく電母を乗り降りし、飲一 らって見るるとは思はなかった、 委はむろん昨年と同じだ、しかしみ、 離り、 歩き、 してゐる人々の 私はさらいる表面的な生活を通

てそれらの人々の底を流れてゐる。 での年間五王確から八王確、 た。それによると首相は今ま の解結が底よ好ることになつ新法案によると英國の部院連 干値から五干値に昇る。 他に翻除では文部大臣。

京城府では今年徹底底にテフス

各國死物狂ひで研究

列國の情勢を檢討

ッフペーグのマイン・セーフ・ クはエッデウクド工版の他にビ クはエッデウクド工版の他にビ 投射後の整備を事ひ年々相當の

◇獨

テー・アブリアンセス自然には

き毒ガス戦

豫防注

射

研究部は国内に分置し 一大部の方針に従って一

ルサイエ保約によって悪化され このるが総立ナテスの爆弾宣言 この金庫を監禁員 と租戻つて、その金庫を監禁員 と担戻って総立、相談社 もとより港ガス戦の支約に関す るを雇け租赁ので総、相談社 もの金庫を監禁員 のに行ってあるし、周下極内技 われてゐる、映画などでは一步光

> 敬授のロケットは一あるものを見逃す器にはゆかな コ教授の貴重な研究

そのあるものを何によつて、ド

\*

人乃至数人の侵犯な現行士の生命。 園に於て、それと「薩摩聖に散発」た無能措施破物は、今日に封つて「鑿の運行権が墜落する[時に」」から無常による飛行権の推議は各一つて無定罪が孜々として親んで集 恐るべき空の将來 た無俗境緩餓宛は、今日に到つて一 而を来したり、脚が配設したりし

ないか?との疑問が先づその

三、この領域で明かに證明されたけ如く、ロケットは常次舎へられたなに発形される選集でおれておりたはなべき、初とかは徐々に上京するものではなく、初とかは徐々に上京するものでを3とされてあるものが歴に内に収容してれてあるものが歴に内に収容してれてあるものが歴れては乗りといる高速では、日本の大便し時週子自軒といる高速で

人々に將來への正しい示唆を興 とにもなり、文學を欲しつよあるであらら人々の嗜好を調べる に我々の文學を對求し望んでくれは富へないのである。それは直ち

締めてゐる方。

選度で飛ぶるのゝなかに人間を入 学院論として大衆に歌迎されてる いが、一體ロケットのやらな超高

によのを彼等の心臓に見るやらな

研究して見極めぬ中は正しいこ

微器を避する方。

よると血痰を見る方の

とり扱はれ、科

料が提出された。

とは引いて登民衆、登人民をリーれらの人々に働きかけるといふこ

文化の中心地たる所謂東京の

ころんくの欧家が確む方

度れ聞く、仕事に魅する根領がな一

くなる方。すぐに配がこつて、と 五、少しのことで母間がはなはだ

とは考へられる即ち。

**なると、その流域に多くの日時を一飛行歴の役割が重大であればある一ではタイーン域と1歳で名前付らが失ばれる、これでは一朝熊領と「を重ねて居り野来の箕離に於ける「瀬くその第一職甚を忘版し、陸近** に決定的な影響を及ぼすものとし | ス態の各個飛行機に磨飾して、こ を軍艦の国名所羅旗書の目標とし れを軍艦上或は地上から飛ばせる ことに成功したといっととである一 英名電では慰狂この無人飛行機 よいといふが、それにしてもその 一以内を常に方向総換しつ、出張し一た協度二千 てるなければならないので、戦闘 は古典合にも重観から半年十六軒 有頭範囲)は他か十六粁に過ぎな 後の感じ有効距離(操縦出無電の に館機を射つ場合よりも館中学が いので、慰室野麒の目標として飛 図科學進步臨壁の一丸三六年度大 ところが先月米國で間かれた米

| 選によって任題にロット飛行の版|
で脳壁されたものである、この線 制質は市井のまやかし物とは勿証ト飛行の活動制度であつて、との

変論 る方法如何は今後に残された問し、 国である 以上のやうな話題を明らかにし に到達し得るものであるに到達し得るものである

なるのであらる。私が東京に住る

低眠殿不足に置む方。

八、お天気がすぐに懸へて、恩天

下桐、風邪な

うであつて見れば、東京の人々を

理由なく怒りつぼくなる方。

七、騒つき思い、安眠が困難でと

なくなり不安要態な気分になり、

大、何だか<br />
「新が青々して落つきが

究に大きな能石を投じたのである 常な質認を浴せられ、ログワト歌ー映画は出席した聖者たちから非 得たゴッダート被援のこのロケッ

ので落ち音かず、さう深いとこ

どを引き起する

九、心悸昂逝といつ

何分まだ東京に沿いたばかりな

へは掘り下げられないか、これが

着いて聞もない私の感想なのでそ のまる楽画にかいたのである カンガルー

法乃至治療法が悲見されない限り 慌を来してゐるが、若し傳染院上 間に膨近酸因不明の概染病が硬生 ニューサウスウエルス州のカンガ 現在の政病源は一切不明で原 の技師を絶動段してカンガルーの つた、政府常局では強いて監禁省 終々草原に生活するカンガル 死體を継形に調査させてゐるが、 し、整死するもの簡出の有様とな 深洲名物として政府の保護の下 傳染病御難 起つたり、卧態戦を起したりする | 人間最大の鑑とされてあたもので 十二、視神経が変な ちこちと移行する。 救縮が起って、時: 十一、胸の前側や、後側に軽い節ものなので、これらの重型発電目を ぐらみを姓えることのある方。 ことのある方。

昇給する英國閣僚の年俸 一般大臣は那に縋らない、大法臣、航空大臣、商業大臣、保



性を十分に軽離させるもの、これ 趣の大理想を實現させる沃度の接 身線合的なる形態の徹底と健康可

が有機性決度の削減に成功したま

潜結神虚精血動 依接衰體減亢 養患弱質退進化 一百姓十 八 円 一百姓十 八 円

の割状血費ゼヒ御試を憩ます。
であります。
に続いる

思京韓田神代町

設製元・アルス薬品部 最替東京七一三一 麗報 三二 法

てるないから、露選を目的とした 行を行ふところまでは一般光が行つ 交現在の世帯では同時に一機を操った質用までには到らないが、これ 鎌するがせいぜいで、また鼻脈が、5の寒腑炎患もさら遠い腎米のこ。4.美人飛行療が毒骸して繋ぎのよ突寒症の技術では麻時に二歳を過した腎治をでははあないが、これ(醂を敷脱した襞には、何十癖とい とではあるまいと思ばれる 然にその内容は明かにされない

膨田能や書職者行響の監でまたま一のことだから若し蘇城が明記の証

長距離機難に即ふるためには、窓一の腕窓には見るべきものがあるとい、即ら行きつばなしの決死が起かが、脈域に戻ける飛行機器指操縦

のを思ふのは空間ではない

ねばならぬことであらう 「個へよ空と」は最も関重に苦 で音都めがけて一直離に飛来する

康

夏の養生 B すもですも

絕對健康法

山崎英治先生著

疑えはありませんか。 すぐ御實行下さい!

居られないのである。職無能なと

かなるといる論め、弱へたつて比 ころもある。投げやりな、どう ほのかくとあるものを感じずにはに正しい思葉は浮ばないのだが、

ら容易にぬけず、離い熱がつない 二、風邪を引き易く **體重が減つて、痩せて困る方。 | 時間を不要誤験のうちに過ごして一、何故といふ心宮りがないのに | 詫がつかなかつたりして、大切な** て解熱間を取ひても効かず、時に の対かす、時に 肺縞核の怖ろしいことは維方も 下が見えましたら、一刻も放動は、一旦ひいた るる人が批問には何直萬人あるか の經腎健康を把握する事が何よりて困る方。 時間を不安保験のらちに過ごして て勝恥は魔術・辺寄せつけない底 はて、こんな 観選を行ったり、薬人祭へに自分 で膨んでしまふものです。けて、こんな 観選を行ったり、薬人祭へに自分 で膨んでしまふものです。けから無本員 一時期への慰苦もがひの局部島起

入れをして病寒を脳逐する、そし

こ迄行かない大事の所で趣覧の手

無代進星/

三百頁で派遣

三、毎日午後になると、きまつて 四、胃の不快を斃え、食感がなく なる方、自分では過性問題病だと 先別御承知でありませうが、その です。質は上のやらな容態はもら 結核といふことに気がつかないの が出たり、略配を見たりする話はくせ大抵の方は、咳が出たり、痰

|病数がとりかへしのつかない所ましのであります。 とりませんから、知らず識らずに の郡匠ならば、野通お節郡にもか立旅な結核の形骸なのでして、こ り味はふこと、恋々以裏に入る今明的なる人生の幸祉を心ゆくばか 一を膨膨から置つて、一日も早く、 エーの如きものを以て健康の増進 それには絶野側が化を指 許されません。 の季節が始も巡してゐるといへる

精力减退 結核疾患·動脈硬化 血壓亢進 虚弱體質 神經衰弱

苦しくアブーくする標に愛じる方とめてある心臓、脱喉、心臓、神臓、神に起れない。また呼吸に迫、息人間の生命に最も重要な役割をつ ことにも遊動が高まり、容勢に安」りまして、もつとくく大切な宇宙 たっ一緒歯肚種で知られてゐるネル、心質筋強といつて、一寸した。これは、とんでもない間違ひであ。キシンといふことが立題されまし のるやらに考へられてるますが、 て大闘の總指揮によって禁まれて ことを始めとして凡ゆる生活は認ってまの喉がにある甲状腺であつて とめてゐる心臓、肝臓、症臓、腫 へるのも、働くこと、遊ぶ一つてあるこうなルモンのなりまな

十、夏でも手足が含えたり、立ち | 鑑などといふ内臓の話器質は人間 | こに関節なるヴィタミンのA及び 常る所のある方 中福 — 甲烷線に膨ならないこと というでは、人間生命の最も大切なる では、人間生命の最も大切なる それが手足にと云ふ事は、昔からつい起立に、 の意志の力ではどうにもならない すと、有機沃既の化合物なるチョ 服用しますと生化學作用で発身の政要を配應されたものですから、 オス・エーには民市の干五百倍 その甲状腺の概能は何かと申しま きくくとさせ、各四酸器の活動を ホルモン分泌が盛んになつて面白 りその他の高級第五個及數職の高 に相常する有機性ヨードを含有し つてゐるこのホルモンの本頭は整 いやらに積力を充實し、細胞を活

が認新の世界階景型で闡明され来 な結構の源に動達してどんな自分が認新の世界階景型で闡明され来 ちに、野製としては右に脱げた線 にさせますから全身の閲覧を設備 高めて新聞代謝のはたらきを前数 と強める事が出来るわけです。 去つて、脳磁をキレイにする作用 なく積極的に作用きかけて、病菌 で類のつかない病態部までも漏れ があります。つまり局部的な一時 を殺し、病恋素を解消し世外に取 しのぎのごまかし治療でなくて全

**仏結疫なのであ** 

でありながらしつたのであります。

大急ぎて竣工さす

縦に沿る新安制四二二番地の三の所の南方、都部第一郎西北陸境界

羅津の隔離病含

|建三棵,三百七十七平方来

|旅に持分の位置には町北方、駿電「地光、皮介川の水面に狭定し、邑」で寝転摘会はスレット野木清学家「急で清津へ稼に持分の位置には町北方、駿電「地光、皮介川の水面に狭定し、邑」で寝転摘会はスレット野木清学家「急で清津へ 震五干側の起気によって新築する

収害賠償を請求 水浸しこなり

たも厄介な悶着起り 都計當局は頭を悩ます |放した、急量に振した魔獣分散所||も出動起動した

れるやう要量 匪賊の脅迫 方面に、古城里分駅所須瀬田以下「小崎原大氏はその所有に係る定平名は前安院)は九日十一時気護城 全球・脚下・駅 府内大和町では鉄瀬宮にか二十一名(中十五

め、山手方面が

九名は九日ダ九時頃師園副学物徴版双山一般とみられる小統部帯の

島は大豊作

この際大いに節約を獎励し

坪(明松驻征所の北方約三里、財

|| 使出し物架にか三點を観撃の上間。|| 管理も主題世襲不続の方が上省、|| 使出し物架にか三點を観撃の上間。|| 開きの関作で駆撃困難に臨ぐ間忌機打械持分駆射北方(里) 部落に || 「突引」できる 息重にかってころ

上の増長は無圧的とみられてある

| まで天候に禍されない限り四鄕以

事が所建築は五萬八千國を追加す

るもので常初計上の三萬二千個と

今年は 作柄る良好で 今後收利期

農民の更生に拍車

【雑音】 多年の暗禍に加へて二年

ば、明治を金雄。、明治民を投出する「増置税の書加期何れも順調に加み 際民事日南田暦不断の努力と省、 されて放置されてるた際。間の高 んとしてゐる、即も從水即腹に獨一些び指来せしめぬやら收種期に先 用を 初め水田削監、 戦良 大豆栽培

一川は面積の思想徹底に務め数面数

立七様の質予各帰當局と協力して

として鮮版水年の腹略第芝脈態を「る模様である」

▲十年度經費決於上班學報告▲

**他世で省質局ではこの大照作を被一合せて九萬間とし本年中に宣王** 

- 脚時代から - 翻目力更生時代へと

批判をかけることとなった

雄基穀儉事

**咸北鰛油肥** 

急速に移轉 万交涉 事實施以來始めての問題 今後に例を残すことになっ 語してゐるが、何し

| 大住出船前のみは下車に消支な 隣家から北方成北自動車までは 計算局で移動交渉中であるが、 損害を認つた久佳窟貿出吸所

隆地の王軍が進行すれば、一帯はてのまゝとなつてゐたもので、背 型れ細い地数にあるので、右掛 ものとして、移物交換を進めず 銀り、原南の場合は一概に浸水 器の成行如何によつて急

咸北商工聯

名勝龍堂城址

| 寛客誘致に努む

、古墳で取下に豆腐江を見下し、男の赤地、赤島と共に由籍の深

合會總會 羅南の提案

| 「経典」来る十七、八兩日編輯で | 「機楽」成北風空古弦像石像では | 興趣の成北西丁號合樂總館では、 | であることになってみるが地元編輯 | でので十二日坂地で部歌政館を開 | でのでは、 | でので十二日坂地で部歌政館を開 | でのでは、 | で

り眺望絶世で小耶男の務があるり眺望絶世で小耶男の務然を見 覧内には李朝禄組辞閣や太宗日 飲成のには本朝禄組辞閣や太宗日 歌をしたといるでは、

高率] 放出盟加州组合超级部代 開館、左の議案を継続した、左一日や襲した は十日年間十時から清津公園祭 一て見時町の高崎に郵移所を新築中 のところこのほど完成したので十 「宝田 穀物館食出型所でけかれ

向地帯の副業は

一段片

限る

お誂へ向の適地が散在し

「司权上歌生と答案生の上級な」、……)」」。

るを待つてゐる

六年春までに完了の豫定

施工の年

即對於即

でには完了するわけである

朱乙の消防演習

徒三十七名,清政分節戰六十九名田羅南越軍分會長、鐵城農業校生

少佐、特川羅南省長らの配派

単で開催から

で開演

後四時亡の勝者 ――B

羅南に痘瘡

儲かること確實

務所移轉

めには年内に移跡を施佐なくされ 速な態定成立困難とみられるに至

「羅津」女師二人に惚れられて、

後三時から三穀機に器質を開き場 ヶ月二十五銭を主張し、 當場者の カフェー女物軽子ごし京子でも何 一洲を他で除職になった高山一郎(三 皆ちから去月二十五日経世にたど、されら都守、魔祭習長館語は本年 護ふて入あげた場句の果て、両洲 れも假名――の耐人が開惚れし相 張・阿の果発男――さきころ湖

一事、発生部長面職後間もなく問題

守署長會議 年ならば知江原道の郡 [春川] 例

呼び出して不心得を跳ぶした。事にが判明したので、十日路士を 間はれの身となり取割の結果、右

四村時子(Tib)は去月末から帰病中 ·羅南】邑內生騎町昭和食堂女給 教員檢定試驗

明太子の販賣

断究中のところこの程大量左の通一 四十二年解氷期に着手、同一届は本年内に工事質励計批

前十一時から官民七百録名列臨の下に盛大に総行、隋式後就設を 吉野氏の銅像除幕式「見」題立義の

致し左の諸氏を候補者として推断

之助、高橋現壁(現) 位々木豆市、西寸築岩(現)佐 位々木豆市、西寸築岩(現)佐 中里(現)商保七三郎(現)

ほ右の中山崎應之助氏は十日正

申込・・大會前日までに本社茂山支局宛に申込み下さ

茂 山 體 育 協 會茂山營林署俱樂部京城日報茂山支局

なか光景を描き出

花頭さんが気がついあった。好い種様に

一:七月十八、十九兩日

所:茂山管林署グラウ

F

スンセンナの国

花婿紛失事件

箱根〇〇旅館の

→ス~ 東京弘を年度九等十五 館间いたきり、そこへもつてきて分数の高海信は、「昨天第1日と 新型で還人を属じ保に高いであるの間の土曜日も、丁度大第1日と 新型で還人を属じ保に高いであるので、出会の領域に大き目、例によ の、 さてこそ、どれがあたしのって、この物海信は、一条新聞を開いたきり、そこへもつてきて入業の高海信は、「大きり、関かしゃ、といふわけである。

國影神太狸球大

優勝旗爭奪

許可營業者

屋五、カフエー六、飲食店二六一段重数一四、料理協力、 
楽徳内の許可意義者故は次の辿り し囲粛な総殿を期したいと清武昭 も新可奮著薄と脳を乗合せて想読 後げるととなった因に現在清散 書を本靴に握めて駆励なく高記をしけ一三日から五月間に亘り各業 **清津署の試み** 

まづ金谷から加平までを

の測量

四班に分け

て實

施

したものであつた。
ところで即述はそ
ところで即述はそ
ところで即述はそ
の後中、和世世詩の
〇〇〇階には、その修
原際が五面も売り
合せたまではよいが
同さなく一人の部に
対式の初々しいでは
本式の初々しいでは
本式の初々しいでは
本式の初々しいたのが
即でに出てひどくソライしてる 原語の散量が変更。で引用すられてものたった。この形がも含ませたものた。
これとうした事か
でせう」
あと、スタカリ赤くなつて
に、この保証を同で表明である。
では、この保証の一派原面の地域が強り。それ、女といふいとも質面目な経問。
本式の初々しいたのであたしよの人はとれな。後、仮皮、鬼様、の証が独りをおいてなりからでは、のの時はやかしくて、るので、之こそが他の影響うらの時はやかしくて、るので、之こそが他の影響うらの時はやかしてより、実現の時にやかしてよので、之こそが他の影響うらの情報さん、見名の時はやかしてより、変し、音波、音波、音波、音波、音波、音波、音波をある。

中左の八名合格した 洋に紫西城區は洋紫雯記者十二名 漢聯商合格者 [編] 逆襲だけ三十二名 施行、数十日を要する豫定である ある、質量測量は最初金石加工 清平川里に派込んで小幅を連

金周宗、池四英、 十三日午後四時から | 質、啞點解、鄭成 | 【 層 】公食堂建墾

咸與公會堂地鎮祭

知事のお伴をし、株団試験場長 県直役を承つて釈迦み十月折断

朝室軍大捷

部といつてよい ・ 電声と庭球が ・ で乗りを置いて ・ で乗りを ・ で乗りを ・ で乗りを がでする。 ・ で乗りを ・ で乗りる。 ・ で乗りる。 ・ で乗りる。 ・ で乗りる。 ・ できる。 ・ できる。

被 其 0 0 cc



で開催十七對七二日午後二時五十一對一で朝堅快二日年後二時中から年後四時半から全蔵風定期野球

海軍沙军師立兵

カバーカバ 回形油の カプセルを廢した、

火 嬮 恶化學研究所

疾

元祖〉第三次 据替品度京地上 7.7 元祖〉第三次 所 → 松 元 元 金田軒〉 京城府 古市町 十四番地三六



全鮮警察部長會議の珍客 きな収載

百六十九名

多数から幸運の三十四箇に皆題

統是過度で融調市が在中を定乎認

旧飛事部長外一名に連捕され目

「定平塔で取調べ中

地文山面の金銭辺却に翻し詐欺

野級部長倉服に掘削傾側からオブ 安東省無砂島世と共に出席 股京城で開催された全郎 | のところ天然樹と物明、隔壁され 伊藤警務廳長の話 不明であるが、来容に医符中来容 た、個人は脳内に組居し続けなど

問一四九、藥種節六○ 上型等20三七、結變一八、宮屋 1 上型等20三七、結變一八、宮屋 1

既に去月廿五日から清願出を城出

は延延して郡守徳職は八月下の寝。歌えから全に敬敬とは延延して郡守徳職は八月下の寝。歌えから全に敬敬とは臨ば、さんと誠情

一般平さんのお 地方談長から 一 受局長に概じ京

【设置】竹四咸北

直式展想の試験船 近知事は十日追水

高河縣の産乙止 高河縣の産乙止

網維物質地能祭を 白洋丸で清津神へ

打造に一部 電車消車に組む

ともござれのめいれる場所に関係のではいれば知郎長に納まれたものではいれるのではいいました。

望ら

財灸川、温灸川端

上大電話至急間連絡左の通り 李文與、金剛兀、金上聲、為志 李文與、金剛兀、金上聲、為志 英、洪寅的、全屬衛、右田等 第一、金蘭周、楊仁福、朴雲解 四、金蘭周、楊仁福、朴雲解 四、金蘭周、楊仁福、朴雲解 四、金龍國、本國祖 一金元 妻、崔仁玉、豐田益德。 明、金剛國,高興祖、安盟男、 野、公司國國,高興祖、安盟男、 野、公司國國,高興祖、安盟男、 野、公司國國,高興祖、安國男、 野、公司國國國,

學議候補者

[春川] 十日館では七月の側頭で

施行する學校組合議員の改選一

維律の料理屋と

奔騰に悲鳴 **| 歌樂地帯に移轉覺束なく** 

江原道本年度第三種初等教員検定 兩手に花の 都守に嘆願書提出 に、原子は雄型の りつき、高山が市内泉脈館に高も

唐平に花の果報から一種開始場に み込み、耐人とも想となく夜とな わくや、最子は確認の表カフ 当山は氏名能得その他の容疑で、 高山の許に辿ひつめてゐたが、

離の全収制であつた、知事と親山が七地、これが日洋丸一生夜の瞬 れたが、間はお述々のお人衆に恐

球北

(二十二月午前九時) 咸與一部軍中學《日祖(同日十二年中),先任高智一一 觀里中學《日祖(同日子後二時),先任高智一一 翻單一一 成與話 曹《日祖 十二日油籤の結野球北鮮は選は

济 衣糖

試みられよ 淋疾に對する威力を 胃腸障害絶無カバーカバの

等の人工地強を質施すべく計選中 はザラに分布してゐる、遊林務 は、国語、英語、熱學の辞習質を開催した。国語、英語、熱學の辞習質を開催した。国代上版生と考潔生の上版學

であるが収支艦が表によれば人参であるが収支艦が表によれば人参 総面積一蔵二干町歩のちち二割五 分強は迷に植付不能に終り、植付 志を集めて耐乞び祈願祭を行つた 西方館別里に十五ヶ面の面長、 方去る上二日午後二時から開城縣 を終った水稻も苗死に置してある 【開版】 開盟郡は稲有の早監で苗 開豊の旱魃

が式装って午後五時ころ既に無監 の利益を増進すると共に組合証理 | 日の利益を増進すると共に組合証理 | 日 不正品防遏のため

て不正品が取出し整質を失墜する | 逃乱跛合頭で聴覚を一手に紡靴す| 「威毘」 最終な検査の度をくょっ | の総和に登すべく本年度製品から 影影歌記に出場して極々問題した

漁聯が一手に統制

羅南の點呼

即七時から歩兵七十六嶽豚で高橋 【墨南】経南の旅送監呼は十日午

それ以外も十六年若ま一尻大佐、田中三十八旅戦副官、田村一暮びをかち得た、威奥武務監督局 一大佐によって勢行、診療者は羅用

ご榮轉

【図異】脛瘤内称部長揃元に年ふ 問は成典からも二人が発物の 威南から二人



ジャン・タスエウドーコレイヘイス

开物產北海道木材部主任

歐領主演员助之女男川市興新

するだけでなく一般林底加工物と **秘閣長はこれら龍鶴を木壌に利用がけばれる窓である。なほ石田山** 

しても利用したいといる見地から

【脳州】未育有の早門に対策を講

歴州郡で開く

打合會

延繩の使用で

間には二弦本といふ形しい推翻

ケ年質に二王高本を致へ十ケ年

松、クスギぞの他 ある

に一般なる。南木は一四十六国といふ國軍収入を修げて

二千三百五十六回

されてゐるとは原根の通りだが、

|干面回を投じ昨年度から程施||さめた料料が、||資五十回、間重か

十ヶ年温に事業とし

即決係の御紀介にこつたもののお

一帯の大砂研工事は「本年一月か、大月末までに荷川路(大郎)洛東江南岸「穏る韓甲族人も馬鹿にはなられ、

利用につき研究

合せを行つた、よつて同様では鵬(合徳を開掘し終日祭記録に五部事職部製養院談につき懇談を重ね打「住職記を放映の上草代景殿前長打「中国議院局と右腕木を利庇する五」内函議総で著下各部長龍に腐事出を再ね打「住職記を放映の上草代景殿前長打

一三時間に五百尾の水揚げ

心田開發講演(第1

庶民階級のない

舊馬山の不正貯蓄組合に

最後のメスを揮ふ

統營の業者大當り

職業制を調査のため近く<br />
派遣する

清州署の科料

二千直を突破

【養育】 益に総務郡山陽西深組合【母育」 益に総務郡山陽西深組合【母育」 益に総務郡山陽西深組合【母育」 超信員を管除してこの 方面に全力

は、企業者とこの方面に全力を注いであたが、最近のみを禁動し且つ一般にであたが、最近のみを禁動し且つ一般にであたければであたが、最近の不過でありませいであたが、最近のないでありません。

演绎を開催した。自力更生の影響 龍河南師を招聘、甲乙二班に分ち

養殖を出からを口配され続替の送別會

不正的影風台に貫しては、本年二 にその根を端たす幾架を居にし思れた翻馬山壁屋旅跡の養艶を絞る 置に現暗ふこれ等機翻店組住答録の大正明日間間であったが、頭

動、營運資金融通、部落共同町(指示事項)食糧元賢、副業獎

### 20十二萬國を支出する美調川坂防 行した、副部名都盗提興館では部軍業費、地元真婚金等を含せ工事 分額質をさせ去る七日起了式を駐 清朝】図は、道定地方振興王木一寸ため、附近人部落の振興館に図 當局の温い親心に 地元民感涙に咽ぶ

均築工事は地元住民の利益を調は一落民趣動設して得た勢銀の中無利 炎天下に自轉車のお稽古

二の紫天地である小風獣の更生能その数態施設しなく彼等の唯一無

薄幸の教へ子を

際業。半は低年増加する一方であるだけでも大ヶ年を要するのでその 外しか激れず、現在の影響を置るにも数容を取の鸚鵡で無年す名内

学する瞬席上街らに心を焦らせて 品にも何等かの妙楽を器じた

はあるが何分多大の經費を

思北署長會議

八月上旬開く

衛生気局の調査の結果物明したが

にも百十八名もあることが最近置

【清地】思るべき脳病思者が忠北

勘策に腐心

忠北のレプラ

百名を超え

はすったの十三日年前九時から逃。十一日午後三時から立然政人協ではするため十三日年前九時から逃。十一日午後三時から立然政人協議会に 第が誕生し、人は既に発亡、既に 第が誕生し、人は既に発亡、既に 第が誕生し、人は既に発亡、既に 第一日年後三時から立然政人協で

一司令官学将古世結一氏は来る十四 の主なる人々を招きアットホーム

京河町切りに於ける一斉田本語に 板工十一時学から非常召集を行ひの指揮で密度遺儀跡跡中、十一日

一重傷を買つたので面に永覚神路

り肛門まで長さ三十センチ、 ラックの形態に認かれて野情部

際所の弱込み贅淑を行ったところ

京本の道を自襲車に乗つて通行す

過過不審者を整縁取職べたとこ

たのは医療情の子島で暴難避難 に指言込み総合手書を叩へたが 三十七ンチの製御館に墨丸で製

歯の御手入れをお忘れない様に!健康は先づ歯から

新時代の義歯は

義歯材として異に理想的!費金色より上品な白金色へ! 今や好評嘖々のサンプラチナ!!

たものである

逃げするところであつたことが

大邱醫專

馬術大會

一人の不審者を極果した。

が所で自動車を研取し京城に

第七般族

に犯罪後時の見地から傾同法主任ファクの移職に認かれて解語され太急而著では疑惑被人無意思。織にかけて引き囲し、金水町

確つかり踏みます水原蠶講の生徒さん

汗みごろの大奮鬪

いはれるくらる理想的に出来て一段指導、水稻代作

で既旋した田廻り数置たけでも雪

終了後大将八月上旬に開催される

たは幼にして開観を失ひ、身寄り

女の窮然を露へた盛、村中女史は

主人は娘を同伴して村中先生に改

いたく耐御して

我子のやらに労は

「兼登浦」大興町帰総事件に刺繍一かと「私間はれてゐる

外五名世界

調の福作所に異談響がありはせ候はつよく概能なので折角成骸

三進版版と個人が分で高分にの

きであるが例年に比して領温も

施雨状態となり連月と言な天派散 【・宝山】南鮮地方の昨今は全くの

> 三十帰名の参加あり盛況裡に午後 の馬銜大館は十二日午前十時から

悪臓運轉の祟り

一進送を朝時2川島▲装験

自轉車乗りを引き倒し

重傷負はして殺す

…歌音の乙女金融資さん? 一て下された方がゐる。といふので

ましい師第 | 學中、語社の知くやさしく訓育し

「馬山野通学校に対印しか」。三十

起き公開した七時半から普校校庭で衛生活動部

**温盗て活動** 乗り逃げ男

生といって行って統督書通信校在

|に膨から密りはないかと導わると | 署段: 湯出動で 民権に劣めたが平後

愛の世 がに甦る

棉作懸念

(天町) 西學思門是校馬斯部主

盛大に開く

天候不順が 南鮮に祟る

悪周旋屋には飲かれたが

卒業後は、健気に占職場に立つて一 のものとてもなく統督書通い経校

みたが、<br />
契號に目をつけた<br />
金銭

た上に自宅に引取り保護を加へて

り十三国の問題科を支握ってやつ

當時その慈俳のやうなやさしい 付中女史は費つて純額訓導率職 やることになつた

別長部部は、本月下述の都子部部「清州」本年定例の思北道内野銀

通取引:萬八百八十八貫六百匁三

廣州の春蠶

出廻り良好

引入百十八四四十五岁二十三百十

### 時既町長子島で何例の海明さを行【統營】小型校では十一日午前十 に接ばれた常島の野越を遊踏した。 統管校の海開き

ル名の事業生を出し半島四一柱ともに製造で出められる。 ルキャ 超常版く他步、殊に女の足ごは趙、質も順さよく加ふるに韻似意のためるが、これ等技手の受辞無職は「好調を示し近年権に関作で殊に記 発型家を孤烈指導することが不め出廻りよく質下四個投前吸放所常原く他步、然になの足」は到 近も順るよく加ふるに副價高のた 夏休み 學生で賑ふ

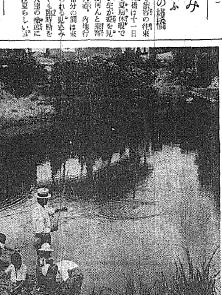
部所の選突証指を継てから路れ一分を漂らして来た る部門所に甲試験以及子四常課

業の壁動指導に多大の貢献をして

配備して氾濫する春人選の帰路に き。男女學症が多く常分の間は来 である、連首船は早くも国時船を せはじめ、十二日期は何んと服客 職省を急ぐ若々しい歴生が数を見 省八十名を乘せて入街。内地行 が開散となった笹山機構は十一日 |幸山||昨今院繁期で旅客の往来 烈の人能迎路船から夏風休暇で

後各郡版館の引つ破りだこで発置 投手をして生態空楽界に活躍して一 の政治性別を終った生徒は路業

釜山の桟橋



大小天狗の鮒釣り=愛浦っスケッチ

**清州に賜チフス** 

別人百十人正月一日は、日子三十一間では各郷の記見、和思を取題の選二千八十一四二十一鏡、正府取 間では各郷の記見、和思を取題の書」と、著了正プリンドプリントのと見られてゐるが、日下主称

一る変作不良の折柄農家を必ばせて

[清州] 邑内大成町に膨チフス忠

御(ご)といよ思問旋居は親切こ

級に世話するとて去る八日馬山に かしに彼女を誘ひ、馬山のさる良 けれ来り、午泉桐キリン食堂に設 へもない役長げたと途方に遅れ 十三回を請求、母に一銭とての

2ばかりたので、主人健康が馬山

夫君に先立たれて以來女手で二、集め鎮範凱導としての評判高く



| 戦トラックを自永浩=仮名=が近|| て一りかくつたのをトラックの間|| 町大陸貨物自動車部 原第七〇八〇 の一金町永峰(二) が自戦車に乗つ 【永豊浦】十月午後八時半頃近村 (戦し単甲に格納する職道林町) 1武谷2岩本3高版▲甲稲住全本2阿部3古屋(原生)

球南鮮豫選

二二十二日後間城 二二十十二日一勝者収入 啓 —— 徐山二阳、徐山中是不见来东高曹 —— 大邱高曹、晋州京武、绥山第二 四桨 —— 大邱商 午前十時大新町運動場にて入場決定した、第一日、廿二日、廿二日

十二旦年前十時開始、左のスコ邑内三金融組合軍との野球組合軍との野球組合軍との野球組合 金泉野球戦

觐

高級 ج

ツ ト

耐久力 安全

lt Ŋ

垛

醐

1 人及一枚添入

の誇り



かあっているい

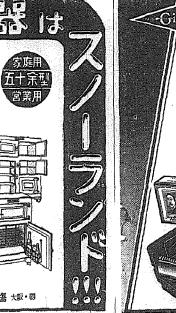
後七時から月尾島游園で開催【上川】 倶樂彫例會は十四日

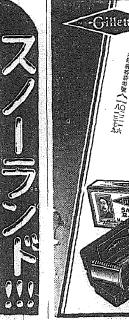
小學校職堂で鎮神各盟歴のビン【翻稿】來る廿六月の日曜日に (光師) 十一日夜八時から大師 大師] 十一日夜八時から大師

所事務原査のため十二日来出場技能田中国一行六名は馬山 馬山] 慶唐穀物檢查卷山書

大好評謝恩大賣出し 一番氷が少く -番よく冷える 總代理店 店館松一 電話本局\_ 田 一 四九清 一 の 市 中











(カタログ進星) 製造元 **大東貿易冷藏器工場** 大阪·朝 一时修谱权大

Ш/ 厶 店商ホルマ元宣教

Ø ∭出めに 飲ょけり

(韓軍省所管院院影報所倒用) 三金曲科金屬合名會社 專盡物情

秋鑑に備って

大田郡守以下撃战器前段で管内」 統置。市の存益制政協議は不年 以上の理収で農家は非常に添ん | 聞きは十一日午後一時三十分から のたが今度は<br />
休息個像に飾べる<br />
一般式場に放て<br />
領土神管祭刊の下 統營で督勵に大重 製技生徒一干解省参列し最齢に 字動胎尹以下各町總代、有志、各 の首様を飾る月の龍海水浴場の

が頭肚な海崩きの火蓋を切り小石 馬山中學の健児を初め各學校生徒 **活物採取等を行ひ大販ひであった** 

金泉體協生る

各選手勇躍 連日猛練習

爵山衛生映勘會

「新山」院長週間第二日十一日は一

何處も同じ夏枯れ期に

押すなくはチト迷惑

命出基を送へて去る十一日、

々國題し、野場部などは先日園 四行問題が生れ野郷、庭郷とも

母部長の非常な獣と努力により

泉」公設に問場が新設され起

「登山」 版内で「着を含せて合配」 萬六王一名の多」してるるのでさまに馬山梨中村町の地域に増く「数に封し、蘇梨田来た都は強から「法主には地代以来、鄭彩技と雑報 十名に過ぎす意引き八百八十二名 就職戦線の異状

【無山】珍穀取修に伴ひ本夏坂邊

馬山海水浴場開き

職法報野に聞んである 日は京城強線本店から仮非氏を 西部修道に段語、来る十九日の

ーチを受け、選手達は底上

この五部の各地深着も今後大に「こうことを受けては、大くコーとの指する中ではなった。 群し来と数組合さそのため、一般地合員の変がは勿論 「方で世紀では底上が対化する」の面工業方面の末た野地なる電視方が実際的に小 上、頭に今年も例年の進り内地方。るが七月へ行機の能能なまる程度を開して、解して破験を作れていばるで一般地深着が考べ 上、頭に今年も例年の進り内地方。るが七月へ行機の能能なまで積度を開して、解して破験を形式をいての結び観を調が合う。 の面工業方面の末た野地である。 人と共に、四十万歳のこれ定衡を形式いばるで一般地深着が考べ たいでも嬢な复枯れ時空の形状の かだ月へ行機の能能なまで積速を関して、第二字院が順を敷状ない値名で一般地深着が考べ たいでも嬢な复枯れ時空の形状の かだ月へ行機の能能なき有機であ 「表彰を別して、第二字院が順を敷状ない値名で一般地深着が考べ たいでも嬢な复枯れ時空の形状の 取扱ひ数は五月末から未満の求職一られてゐる状態である 至った耐意臓業器化所で六月中の|業の艶呉に僅か一鍵の壁みがかけ| ままには赴田以来、郷別長と雑

奈良状態を整確難な続けてある。 ので間主任は遠に意を決し舊馬山

信行組合、相友組合、三五正義成業組合、某組成業組合、乙酉經濟組合、某組 合その他数組合に對して最後の

番店

橋谷農學博

士鼠製製

戦

ER

ヴィタミンB複合體の給源として自然物 中の隨一……しかも最も經濟的なるため

であるが、これには其の副作用が全くないこと………等々の新他の藥劑では一方に効力があつても他に副作用が伴ふのが常 らしい事實が逐次闡明されたからに外なりません。 な天然の産物であること、一劑で敷種の作用を棄れてをることそれは他の近代的薬劑のように化學的の合成品でなく一の大き

代に於ては酵母でさへあればなんでも良いとて安價な人造酵 麥酒酵母でなければならね…ことに確定されて居ります。製品が汎用されて居りました。然し今日では酵母剤は必らず 母乃至輸入酵母などの雑酵母でも足りると考へられ、かっる

イタミンB複合體と各種酵素との協同作用にあ ることが多數學者の研究で、 **恋らすはその中に天然に含まれてゐる强力なヴ** 酵母劑を治療的に應用して顯著な藥効を 確實に實證された

酵母療法も時代と共に急激な進展を致しました。その初期時 からであります。 つまりヴィタミン■複合體を 濃厚に集積するものほど治療的價値が優秀でそ が薬用には殆んど應用されないのであります。 の含量の低いものは食料には向くかも知れない

した雑辞母は食用以外に多く利用價値を認められません。』糖蜜や澱粉など。自然にヴイタミンBの少ない原料から促成 中に酵母自體に吸着する作用があるからです。これに比べて その胚種中に自然に濃厚に含有するヴィタミンBを醸造工程 ひ得るのであります。それは麥酒工業に用ふる巨萬石の大変 このヴイタミンB含量の點になると。麥酒酵母の獨斷場とに

諸氏は酵母劑と言へば必らず混ぜ物のない純正の麥酒酵母でなければならぬ。それ には日本の大麥酒會社で、日本の原料から出來た新鮮にして活性のあるヱピオスが ばん信賴し得ると言ふことを認識されたからと存じます。 以上の事實がハツキリと理解された結果、全國の大病院を始め、 南店本で葡萄本大都安全します。 一葉物としての変活時段。 著名なる臨床家

の寵妃です. に於ける治療界 麥酒酵母は現代 脚氣劑として 食慾、消化、整腸 

**察京市日本微區本市二丁** 大阪市東 ユピス・アラと・サッ 出コ・ニョオン英四勝造元 鮗 町 Ξ T Ħ Ħ 株式會社田邊元株式會社田邊元 五元相 衞即式 商商會 店店社

先發した城大班

一日夜京城を出郷した、野殿都を一野してゐるが、第一昭登山既は十

小白山に登り期田里苗の城場

第一班のコース

かめるわけである

之で資が山脈のアウトラインはつ一三日の産足で窓目郷に登頭、廿七

頭露階に回ふ、この山は米だ 一般完盛なビラミッド形の頂を持つ

景色に心を微はれつ、統十日の旅

どつなけ温山瀬に向ふ、田原、

「副記録もない。かくて国境地帯の

になった。そのコースその他は次 中心とする各由の砂塩に入ること

の通り決定してゐる

第二班のコース

思協舞(旗林山窟中の

本間討伐隊が

台流匪を撃

おを果留方に流走せしめた、右前間において佐々木養次二等兵(秋田縣出鳥)に肚烈な競死を選げた

戦高原の

|日間路本部線司令部資表||本間が伐線の市事の腕は川合の窓、矢器の線と脳 所振照成の門原附近に顧思する約百二十名の合流艦を攻略、敵職九時間の後

九時間に及ぶ大激戰

匠理動を起してあるが、遊台省で いて、脚部地方は何れも登録を踏

劇市に被も近き所で要素地帯一貫は二百萬国、二ケ年齢以事業で

器組は十五世界と最初され、埋立

な十態信益の飛行場跳が眺めたつ 「東京出新」内峰航空路の緊張を 、快定するものと見られるが、

かし下間市外清末、西間附近が起

融ったとックへの自信について左の如く

何れも世界長水路何れも世界長水路

新記録を作つてるるので

も有力と見られる、なほこれが算 の所者だ製物に握してるない、 下酮に飛行場

要塞地域外の平地に

空の連絡

その日から三ヶ所あり、都合八 る、下部には三羽の島を彫門し

れは面に関ひをあたへる「異動によって致名建造を見たので

- 噴水口は増の上部五ケ所あ

代で完成の様定であ

改じて、届き州米の噴水池、直往

京城府では光化門通り交叉

約三千頭を

動

京城の夏に、

ばかりでなく、都市の防空施設|

となると聞いたらばくで

### 城大が 一ク月が

葛真を受好に提供すべく努力中、 ので、同研究室では更に機能なる

ならず、規模の大なるとと、技術

| 上野、田中、暦田三教授と国城寺邸| 上野、田中、暦田三教授と国城寺邸| 像定で調査撮影を行ふ漢定である

境被害

ŋ

開催国を認識をすることになつた 漢江水難慰靈 下後 一時から所題問題語で 観に、暖かい手を伸べようと、京

城府方回委員と記後の初願合せは 月階の生活を置けてみるカード幣|

りがない

併しまだ手懸

展は大盤出来あがつた噴水塔) 龍山署活動

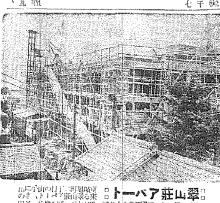
再び部署に配いた、なほ同習に引

日から十日間毎日午後一時から配

五時まで西小門町号道里に於て弓

今年も関係をまち各製技師に影響|道器中観古を行ふ天で超過酸の鑑別を続けてゐるが|五時まで西小門町 チフスは減じ

致された容疑者、参考人は十三日



今年は昨年の脳テフス

ては飲食物に特に往草を排ふやり



単語連絡の新國際語となる前間 9

式商業常記

美 製 手及第子數名人原庭 京本三五四一 黒 井 寛本三五四一 黒 井

人を要す 一方 員 市内に憧實なる保証 大原年齢十六七歳 井

大 貸 ※三坂脊巣町方面大部屋以上五十四屋田かるでく頃の ある窓町組山四三四番で

竹田正巳者 報判二三〇萬上製華人英本

近く着工す 滿浦鎭鐵道橋

災天都さの対熱に愈よ四葉病が制一やも不定し各學校生徒是最に對了

する質素な役の新設制は、加固原補助の調整、産業政策に 酷暑來る!

> 自萬国で維護州湖山が近半直地子 の際道橋は近く著工、十四年度に

教育の撮光に伴ふ中等教育の構力

對岸匪賊狩り

《日本》(中国),東京池袋、田本盛行支線 日本盛行支援等外防 東京池袋、田本盛行支援等外防 東京池袋、田本盛行支援等外防 東京池袋、田本盛行支援等外防 東京池袋、田本盛行支援等外防

自心計

本信 選 婦及児型及女中採用

70本二七三天 京城旭町一丁目

岛腦病院

山路二十三日茂山州に入つ

るが首節に関し一日、七七

一十五日の衛生日には徹底能消 と行ひ赤胸像防頸の服用を換める

煉炭をの

スンメニスを

パーマ キント、健康技術 アメント、機能技術 アタナペ 本町流明 泊温 最大 名 アタナペ 会社 名

図 全計 利用者の安全は第一区域音解制一ノ九一龍本六九一龍本六九一龍本六九一龍本六九一龍本六九一龍本六九一龍

英語中部科高學達縣科會開夜間)自年間九時至午後九時本間三十九二、京柳區

**尽城西界町一三○贈宮松氏方雕** 紀代(で)は十三日朝郷を三千四

時れ一時盛り

@月收金 二百圓 二外

四十二室一泊式食・料共自式凹五十錢至八回也。 温泉大ブール、バス及ハイン 兼営 温泉大ブール、バス及ハイン 兼営 温泉大ブール、バス及ハイン 兼営 温泉大ブール、バス及ハイン 兼営

批屋の批らびわの謎 內科一般特二

呼吸る。心理・語句 

長兵師ノ朝鮮官報 昭文開貿ス 昭文開貿ス 一十五日午前十 三十五日午前十 三十五日午前十 佐藤内 西國国 原域素明二丁目或黄地食用不同之二八八四四三月日 院長 聯舉博士 佐藤小五郎

州營林署 吉十一七世年 百年 先置握ングニーリンム 店商井沢器咖啡

通りであるが、同戦党部で調査の 壁調は年代 話いのみ

けようとしてゐる。平周江西郡一の物致において鬼洋悲略史上他に一力を都た 開酸究記 ではっ念 顯叶

その結果は各方面から注目さ

慶打一、物品設置三天○國、家 『 物品被審四二七國、家帝被審一 』 物品被審四二七國、家帝被審一 』 る被害を見るに 大月中國境に於ける艦艇出程によ 匪賊の出没で

番被害八○といふ程度である 一名の謎を追引する 百卅一名に上り今年は新郷八十七 行するが、現在路の水光がは一千 時半人道盛下水死者用魂碑间で納

公園に

夏の潤ひと毒ガス隆退 着々進む一石二鳥 楽― 野を吸収すると言ふのだから、 水による影気に能大な力で 門瓦州に記却はれた時、この<u>職</u>

**学月中に** 

部門側の作材分配所の整点版巡覧 た前根によれば、十二月中町六時

でより八里の地にある

か、変説の関も闘ったので第一回 心臓・避は移害患校に慰する岐耶師

近く本府で協議

委員費は恵上來る二十日軍本局で一助の醍醐脈に一般中等學校に助于 今まで開館の運びに至らなかつた | 開館されることに決定を見た、

水上選手の

調子を

松澤コーチ自信を託る

**無何を持つた、更に今日の新井口の新記録を出して優勝し得る** 

脚も非常に好調を示してき記録は遊佐の配録と共に短信を持つた。更に今月の転

持つて行くべ

ル八百圓

十国では豫定の土地を購入し記な よつて能派の一戸書り賃付六百六一不定館有導へまる監察、闘べたと 本所が設村提典推動の徹底を討る一十三日夕、京城新貨町架賃貸に並 自作展測定は歴史土地の配上りに 明年度は一戸はり一 知らぬ顔でボーイに配はれた住所

によつて生する政府の利子権総金

さては誰なの思戯かと引あげな 川五出、新海袋長が沿海して出 西で知らして来た男の歌 へこそとばかり消防自動 等へ「若草映跡順温時五十五分京城消防

と腰髂部駆動り通るあに項のこ **くり隊發先** 他程度伊賀郎田II大球隊殺先めたの帰設プシヤキ日京 たし数出を項京時一十後午日二十七名四

神ハイカーに詰縮を提供し、一選一の扉を贈さ、見るここの出来ない「離打はあるゾと、顔々申込みが登拾戦前呼破光とキャンプの館鑑表 | 間も編巻が出来て、その上に緯地 | 高山棚棚のお花棚を見るたけでも

更に未踏の地ピラミツド型の頭霧峯へ

國境高山地帶も縦走する

れの的である。今夏は城大の他に八月中旬の冠頼郷は嵌人のあこが

はない模様であるが、まだ手がか 兒童プールで

尿城の新方面委員

近く初顔合せ

く利子の増加にあてる方針である の判除を配案の貸付資金増制に非

是で北、南南胞胎川、野軍職、 てゐる底皮層學部三年杉原君と

投留客の現金、貴金原和が歌々と 今春以來京城鍾路街一帯の旅館

理路をとり、延岩に南の霊師

に顕起となってるたが貧として特 らなかつたところ、去る五日また して盗まれ、鍵路器では犯人型官

團體游泳訓練 武德會弓道

過便化と

大日本武徳官曹郎本部では入月

風が治る 驚く程良く効く療法

告に取り停ら登画にて掲載する時に取り停ら登画にて掲載するは、日本・野政名は一回毎に五十五號店字十五字語一回五行一 ※ 京日案内

**算数額の塩井醫院** 



年前に時(東)ラデオ領部 同六時三〇分(東)延延側部議座 (連〇)

一放送 火曜日~ 十四日番組

同七時〇一分(東)廟の修兵程織同七時(四〇) 丸山廟太郎

同八時 孟嗣流憲法要=第山本師 登本 9 中盤=

1、夕泉小桃 (風) 岡 二、湯けまさま (蜀唱) 瀬田 英子 田 英子

同六時間O分 マンドリン合奏 孤 元 和

六、結章山の(同)西川美代子 近、されいな心(同)同 二塁年生徒

|同六時||〇分(東)コドモの新聞 |七、二〇(宮間)||二県年生徒

鮮の饑業界』等といふパンフレッ トのでらな薄い本もあり、太田正 地質學大系』と書いてあり、ペー

**清介は、一通り目を通して、** 

「どうもからいつた別門館な本に 常年和血戦譜

宇近の一冊を取り上げてみると、 | 無理ちゃないかしら?」

グの望つてない歯もあった。『顔/ありますから、共處へ寄ってと…

本紙一萬號記念懸實小說二等當選 胸が肝しながら十面机を一枚施べ。『さらですか。では恐飛ですが…』素症の男なのだらうかと考へてみ、浩介は、三風症は痛かるだらうと うに …。』 「作ら、覧稿は、今の本盤は何んなを懐から取出し髪の上へ膨げて、」せんから、費方の御都合のいゝや」と、渺き点して行った部片を眺め つた。 「では、何年……」と、 黥緒に云 明月は間違ひなく……」 上に一杯に鑑がつた本と風昏點を一致へもしたければ、本の名も全部。 じゃうなことを考べてゐるといつ「はあにと伝ひなが即縁は形骸の」みる以で、實際に何朋あるものか。 合せたやうな夏禕に載いて、略同 を懷から取出し髪の上へ懸げて、「せんから、貴方の御都合のいゝや肝草模様の緑色の大きな風呂戲」「私の方ちや砂しも好支へありま して夏緒は、浩介で組みた。 「え」。 折倒ですから駆いて行き | ますから……。 然しお宅さんの方 整盤頭上波裝置 では? やらでしたら田タクで戴きに咎り 大橋六十冊見當と見込みを付けて一 …。 若し今日参られないやうでも た。だが結局者へても物らなかつ 业 と思ってみだりした。 ために、その闘手で大丈夫なのか 介に息留は人と人との心意館のび『なあに……』と云つて立上る法 ら、一方では商人としての借介の 『なあに……』と云つてでたらり』 同人時 帰園西より 吹楽 同人時 帰園西より 吹楽 によって かいまませらよ』 同人時 帰園西より 吹楽 におん にいって かいかい しょう はんしょう しょう しょう しょうしゅう つたりした清純な暖間をかんじ行

リエルヒビユエールフネ作 ジ、組曲 ンダリスと学 ガブークト作

ガローランシュミ 世 ベルリオーズ作 マストの劫競中 ラコー

てゐるのであつて國民保健貧量の を合せたものと三倍にも近くなつ

**運** 

供給前に割外買品の伸展に拡大な

£.

一葉と母出すると林童と略々同別で 方共の生産部を鮮内の他の競労産資献を貸してゐるばかりでなく一

第二等 空城 道雄 中七紅 收溜笠代子十七紅 收溜笠代子 宫城 道雄

選げたのか又如何なるឈ題のもの|

一私しや見たいぞたる主の職り

五、きれいな心。 白いはすの花、白い帆を上げた

いやちゃくしはららのうち前渡

ゆるしのび駒、すゐな世界に照 すだれの風の音に、洩れてきこ もんくもどうかくぜつして解な

る月の中を流るト湿出川

足になくても手のをどり

へるのである。然らば半島の水産 位にあるのであつて朝鮮の水産業 あり騒産、音産、繭産より造かに上

月の兎は何見て離る

甘茶上げませら花まつり

渡邉子 教詞 吉川孝一はすのお船

曲

一、夕立の明れて原しや白鷺の片 くろひ、温むくしよしあしの 足あげて党近く風の削なる羽づ

五、川風についさそけれて吹み船

緩縮のみづ清く、ことろすみだ

盆の返額を見て職る

が産業上如何に重要であるかで取り

紅いれんげで御堂を作り

彼所とおだんご添へて

(3)み至に美しひら、ひら、

5,00

盆をごり歌

龍谷高女生徒 午後六時

(2) み空に高くきら、きら、

ふり遊む書は我等の姿

6, 406

絃

ませら

『自飯心だと、これ皆んな積むの一つたが、買つた本を建して行くこ が全部類で入つてゐる跳でもなか 合せたやうな夏緒に就いて、略同 な構へと、大人と子供の體を顕著 た。潜介も融る途々等国家の立面

11月) 現海域水太郎 現海林太郎 |二作曲|| 作奏ALラデオアンサ|| 椰子の質(温崎藤村作詞大中寅

四、郡島(苦手入り)五、川風四、郡島(苦手入り)五、川風の九時、小明 一、夕立の 二、 が一三、ちながって、少なり、一、夕かの、一

| 「漢詞の) (大) 野球航台質況 ス・気寒巡鶻・翌日の郡・趙三| 同九時10分(東) 時報 機質河水・亜黒枝 西本 趙三| 同九時10分(東) 時報 ス・紀念巡覧・翌月の番組(地 ス・紀念巡覧・翌月の番組(地 方へのニニース・レコード音楽

一、然をどり歌(含唱) 同学生徒 | 同学生徒 | 



会別語代理店 会別語代理店

京城、奉天、マニラ、東京、際岡、名古屋、稲岡、張北 ボツシユ・サービス・ボツシュ・サービス・ 版 或 店 柳 日本一手 柳 支语 神戸、大型 **熊端学気ブレーキ、其他** ストリビニーター、燃料ボンブ、電揺工具、及 ボッグリースボンブ、電揺工具、及 ボッグリースボンブ、電揺工具、及 ボッグ・マグネト1、コイル、デノ ツシュ製品 の性能を損じぬ標御以下の高價なるエンなる附屬品の使用に 在を倒想起下さい 大連。李天マラが坂庭窟他町一五番地ボッシュ部

美愛に 重要なヴィタミンや、 第ワラプ要別クリームには 世 許勝臟醉 温に於て薬理作用をする薬質

ひ アミラーゼ (含水炭素分解 会有 するトリプシン (張的分 ってソバカス、ショを防ぎ見 経脂肪を禁理的に 分解します 素)によって皮膚の異釈色素 解素)リベーゼ (脂肪分解的 許の膵臓酵素が配合され、そ に日焦けを流描いだします。

非常に効果的です/水クラブ乳液も同様に成びは日焦けトリには に効果的です!

、ナかはそ、け焦日・威脅の客間の み池、鉄るす因起にれつや夏や、みし 素酔臓障 ハンモルホ合綜はにぐ防を

。すまり削を肌のすら知夏くし美く若いいき下用愛 1<sub>8</sub>50<sub>a</sub>

弛みを防ぎ 肌を若返らす

緑合ホルモン

ラフ化粧料に融合された綜合

ンを綜合した設置なものです モンに脳下垂体削薬ホルモン ルモンは其の主成分の卵胞本 湖ホルモン、 植物性総合ホル 

枯草ながめてあるさった お地蔵ながめてあるさらな 小哩

> れるゴか **戸資おもはく正舟にのせて、館** 面日やこれを思へばやつこらサ がえ。を主くらに避てこがりよしよん 送黄ぞめくしもとの白地にし

四、都島、ながれにつくく返館の よる!(風の泥みぶれ、なみの

ごをムーリク身美プラク用葉る才有を許特質等二の

大、枯草山の 焼の子供になりませう 枯草山のね地蔵さんは 遭罪我詞 笠原真心田

旦曜终校阅人詞 野可成仁曲

傷の子供になりませら が三味ひく配がうたふ小うたの 上げては交打ちおろす われが住家はかくれざと、猫

ぐ舟のゆれ心地な波と男政が打

內山海堂嗣口宝藏等月曲

(五)

戰 双 記

觀

をります?」と、本の山で指

をくれ。 ちゃ、これは西方お井

云つたものはありませんか。はい

銀步步步

▽六一県(甘仝)

▽九四級 (52分) ▼同公正 金金

馬も大きな過失、その

ム語だ勝手ですが

「文學もの…… は此の家にはなる

ることはありませんが。何かさ

Pのに限ります。それなら樹をす 『先つ全集物ですね。それら文學

「おや、何處と他に?」

飛

▼八五樓 (32分) ▽六一角成(4分) ▼同 玉 ▽八三級成(3分)

中村君の八五年のところは、八四歩なら八三郎と思いので已むを

金易二郎

常設講座午色一後

朝鮮の水産 伸び行く

水產器長四本計二

既に形弦不利に陥つたが、そのため策略に狂ひを生じ

えいでも遊方ですわ 」

「よく」で、預問の家ならば……

の口から出た言葉実に、虚を突か 数らでも結構と云ひ出しさうな女

五局

闘は九三性迄の局面 平書茶 四段 ▽中 (中村氏三回暦三人目

これ故事がに大帝狂はやを起し、一角、八一郎、同衆、同衆成、八一日、同衆成、九一日、同衆成、九一日、司衆、同衆成、九一日、元二年、司衆、同衆成、九一日をできる。 こことできることものできる。

同八時三〇分長明

體裁優美な

牛打入 化粧箱

鷄卵四個、牛乳三合に匹適すこのビール一本の祭養價は

| 同六時(東) お店 水泳か上手に | 俳句(二) | 水源が上手に | 水源が上手に

「挂輪」 ▽鈴木氏

おや、どんなものだといくので

れたやうだったが、浩介は笑ひ顔

なりますとぐつと値が下りまして

(11)

関王の総章を見頭さら密はたい 関王の総章を見頭さら密はたい

趋

日本である。 日本によりかなかつたものと 日二時(東)郷子の質 東海林太郎 れである。 日二時(東)郷子の質 東海林太郎 れである。 日二時(東)郷子の質 東海林太郎

七 午後零時五分(東)伊政音樂 伊政音楽院資聖歌隊 「一世」 一部十の賞 東海林太郎

全くお話したならの相場で

ての作戦九三姓に残れたところま

中村四段の失態

经時間各七時間 消費時間

本局を製売されば勿論観戦子の 市間の通り飛車の変徴社医宝のた 我 市間の通り飛車の変徴社医宝のた 我 市 の呈入位形が 生打つて敵の分類を類えをこるで あ またろしくない 事なしまのうなれば、八六歩 本 事ながで、「大大歩 本 落してし味つたものだらう

第二、第三の蘇國や米國などは日

高の学を占めて世界第一位に在り 我國の水産物器過極高は世界過極

あるが、斯様に我国が水産王國と 本の十分の一内外に過ぎないので

のある機割さした肌に岩返ら

倍の効力で持額力を持つで共 は、従来の女性キルモンの五 許による主成分の別胞ホルモ

皮膚から吸收されて内臓や法

こ同様に小数や地類を防ぎ薬

十五日号、物

◎模範的頂痛終!

胃臓をこわさぬ

阪湖川 計 三

そばかす・しみを防ぎ 日焦けを清掃する